

市政モニターへのユニバーサルデザインに関する アンケートの結果について

【調査目的】 ユニバーサルデザインに関して、日ごろ感じていることや意見、提言等を伺い、今後のプラン改訂の参考にしていくことを目的とする。

【実施期間】 平成 28 年 7 月 25 日～8 月 19 日

【対象者数】 市政モニター 111 名

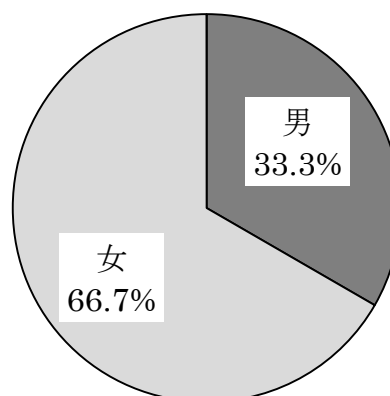
【回答者数】 75 名（回答率 67.6%）

【回答者の属性】

■性別

男性 33.3%

女性 66.7%



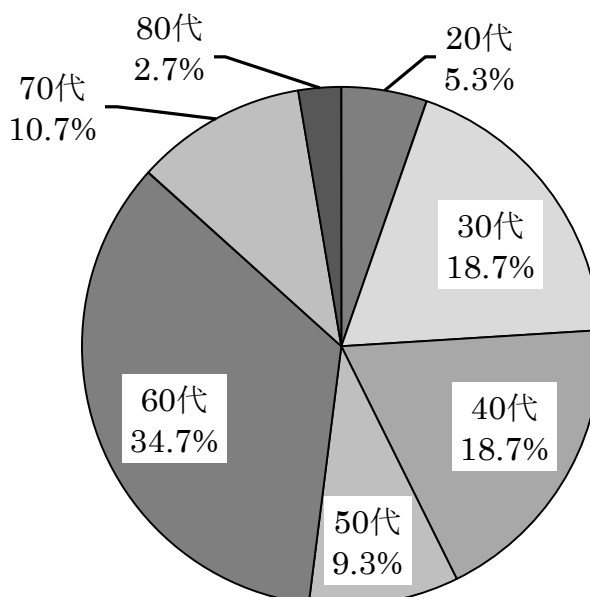
■年代

10代 0.0% 20代 5.3%

30代 18.7% 40代 18.7%

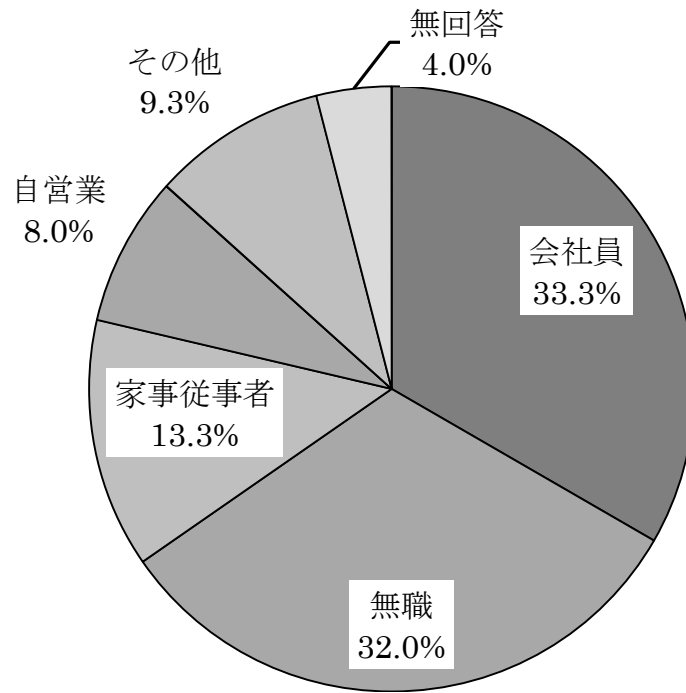
50代 9.3% 60代 34.7%

70代 10.7% 80代 2.7%



■職業

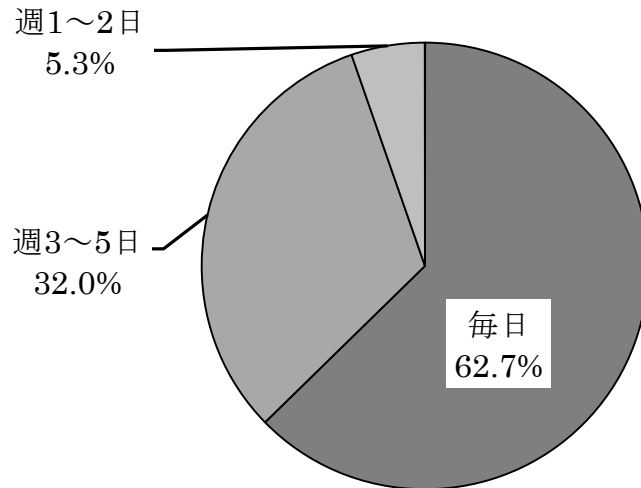
会社員	33.3%
無職	32.0%
家事従事者	13.3%
自営業	8.0%
その他	9.3%
無回答	4.0%



問1：あなたの氏名をご記入ください（省略）

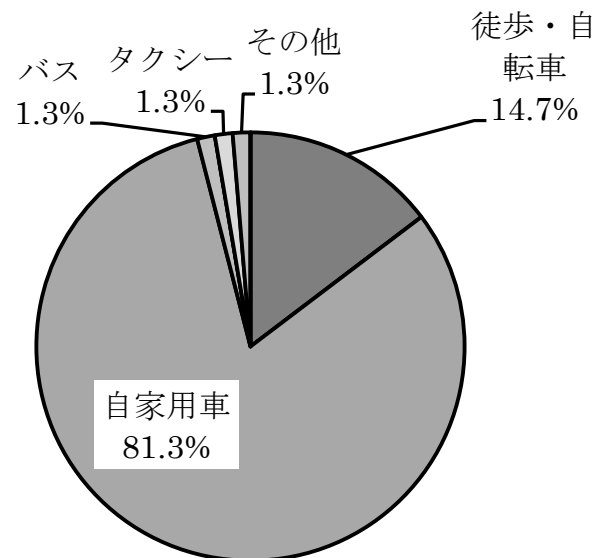
問2：あなたの外出頻度を教えてください。

- 1. 毎日 62.7%
- 2. 週3～5日 32.0%
- 3. 週1～2日 5.3%
- 4. 週1日未満 0%

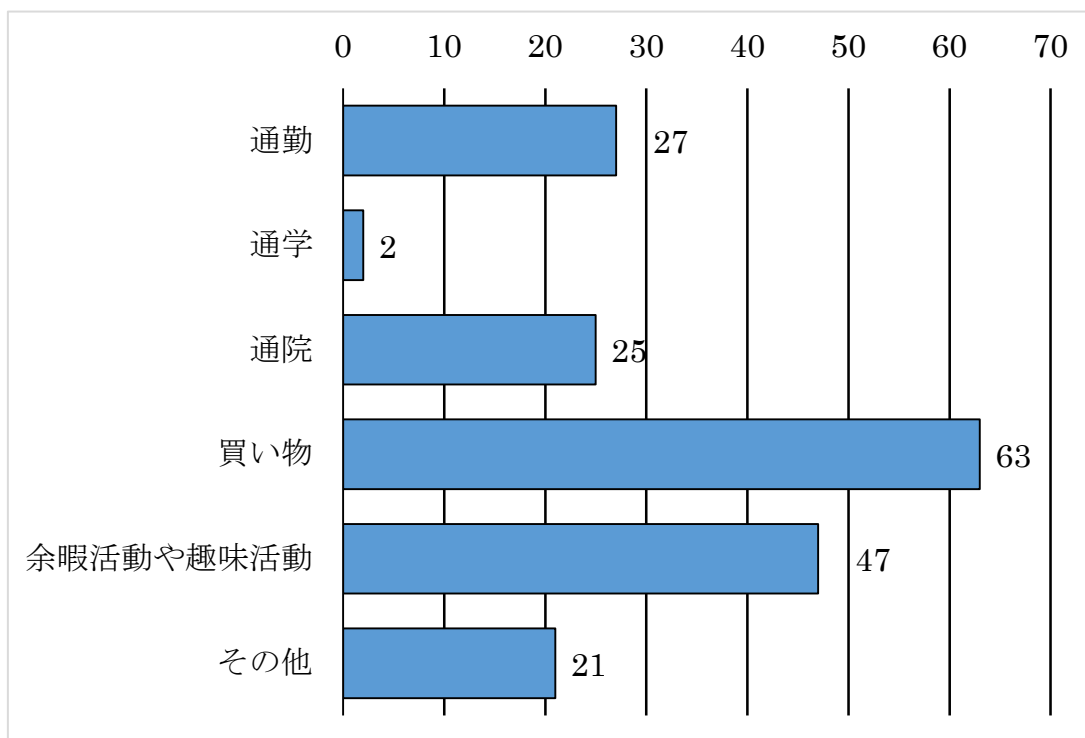


問3：あなたが日ごろ、もっとも多く利用している交通機関を教えてください。

- 1. 徒歩・自転車 14.7%
- 2. 自家用車 81.3%
- 3. バス 1.3%
- 4. 電車 0%
- 5. タクシー 1.3%
- 6. その他 1.3%
- 7. 外出しない 0%



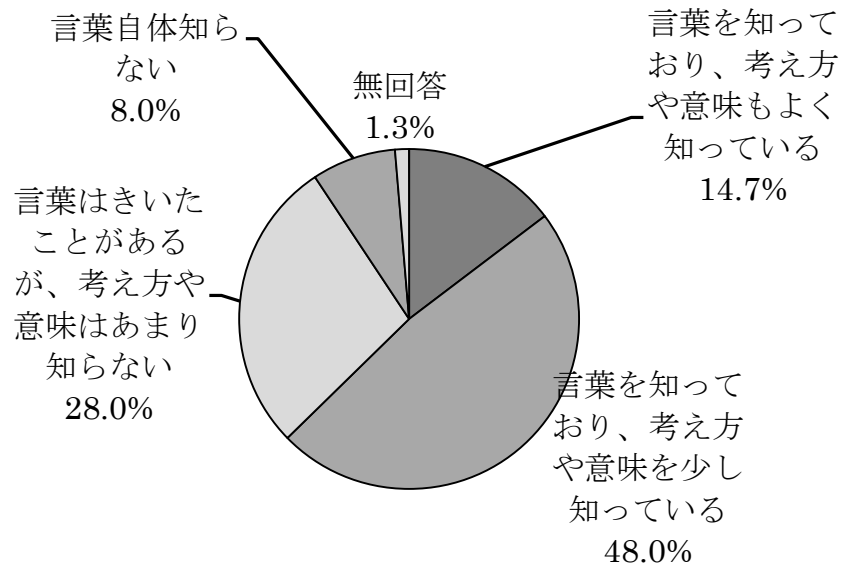
問4:問3で回答した内容はどのような目的で利用しているか教えてください。
(複数回答可)



2. ユニバーサルデザインについて伺います

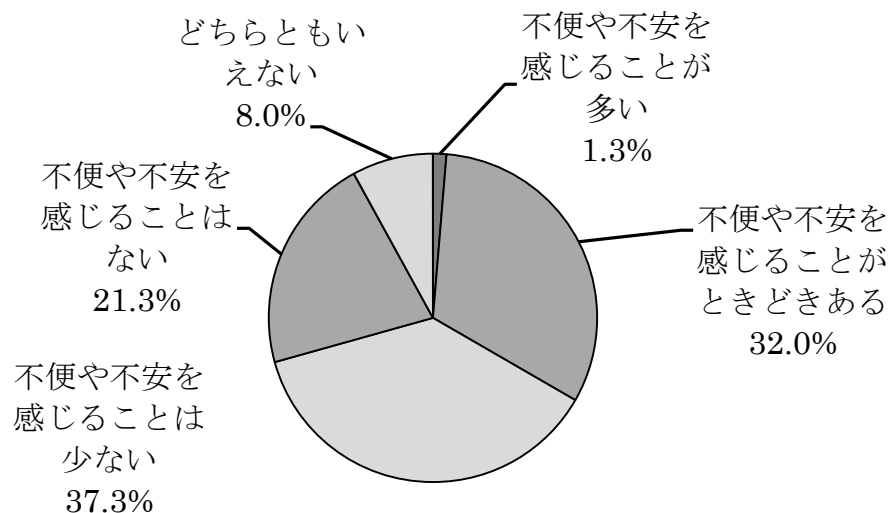
問5：あなたは、ユニバーサルデザインという言葉を知っていますか。

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1. 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている | 14.7% |
| 2. 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている | 48.0% |
| 3. 言葉はきいたことがあるが、考え方や意味はあまり知らない | 28.0% |
| 4. 言葉自体知らない | 8.0% |
| 5. 無回答 | 1.3% |



問6：あなたが日常生活や社会生活を送るうえで、ユニバーサルデザインの観点から、不便や不安などを感じていることはありますか。教えてください。

- | | |
|----------------------|-------|
| 1. 不便や不安を感じる事が多い | 1.3% |
| 2. 不便や不安を感じる事がときどきある | 32.0% |
| 3. 不便や不安を感じる事は少ない | 37.3% |
| 4. 不便や不安を感じる事は無い | 21.3% |
| 5. どちらともいえない | 8.0% |



問7：問6で「感じることが多い」「感じることがときどきある」と回答した方に伺います。具体的にどんなことで不便や不安を感じますか。

年代	性別	回答
20代	男性	—
20代	女性	・左効きの人が使いにくいデザインもわりと多いです。
30代	男性	—
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所内では、エレベーターが無いこと、また、車椅子での国保年金課は狭い廊下を通るので危ないと思うこと ・「おなかに赤ちゃんがいます」のピンクのハート形のようなデザインを時々見かけますが、妊婦さんだったことがある人にしか理解されない場合があり、車にステッカーを張っていても駐車場で注意された経験があります。広く周知できれば若い女性の方が便利になるのになと思いました。 ・閉鎖的
40代	男性	—
40代	女性	・室内のちょっとした段差や、道路のちょっとした段差、お店のトイレの広さなど
50代	男性	—
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・赤信号時の矢印「進め」の件。対向車がまったく来なくても右折できない点や、右折ランプが出るとすごいスピードで交差点を曲がっていく車がある。「赤は止まれ！」と子どもに教えているので矛盾を感じる。運転手の未熟にもつながる「赤は止まれ！」で（慎重に運転するドライバーも増える）例外はない方が良くと思う。※信号機を作る会社って独占と聞きました。それも何か関係していますか？ ・歩道と道路の段差が場所によって違うので、つまずきそうになったり、側溝の穴も気になります。 ・時折、バスを利用する時、車イス対応になっていないバスの時、車イスの方はどの様にするのか考えさせられた。車イスの方が乗車される時、遭遇した時運転手の方が一旦バスからおり、乗せられたりして大変だったので自動化あれば良いと思った
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・家の前の市道が除雪されていない。（自分で片付けている）将来不安 ・歩道が平坦でなく不便である。自転車外出すると安全に不安を感じる。ウォシュレットがあるか不安である。 ・公共の施設で、階段の段差が大きいところや手すりが掴みづらいところがある。飲食店や会場場所で畳敷きのため椅子に座れないことがある。伝統を守ることは大事だが、正座できない人も排除されないようにしたい。

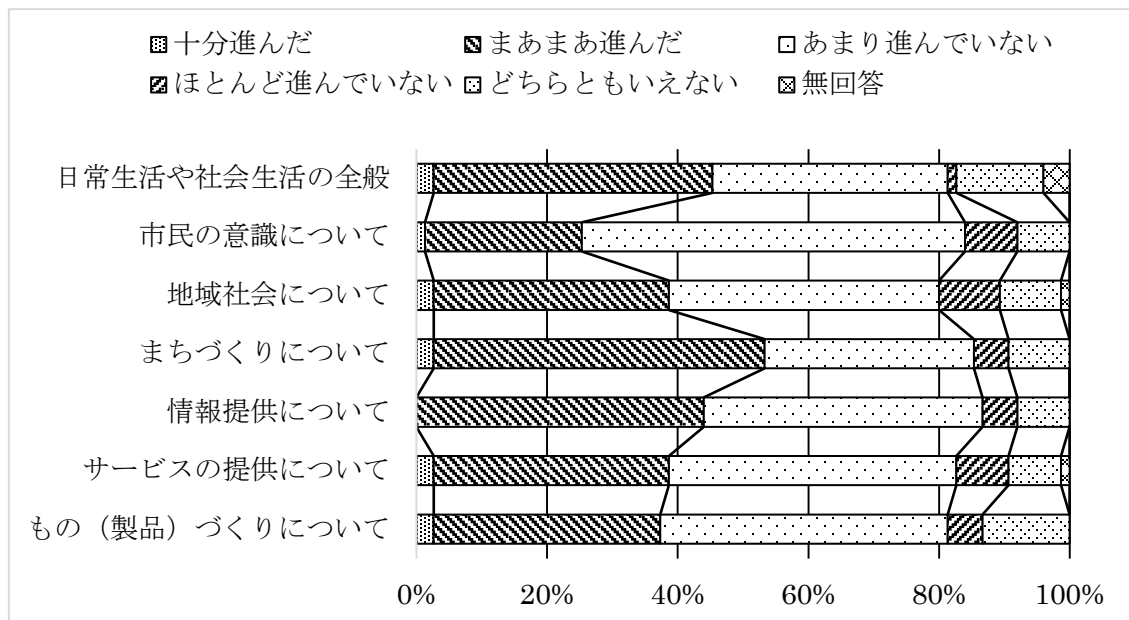
年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・商店街にやすらげる考えの店がなく店主がポリシー持つてる人がいないのかオーナーが裏にいてやとわれ店主みたいで話が出来ない。UDのデザインが重要であるならば美意識がたりない点と説明出来ない人が多く設計理念を知らないで行政が進めようとしてもらちがあかない。感性の問題としてセンスをみがかないといけないと思います。記号表示は出来るとしてもPL法とかの市民への知識情報付加価値をみいだせればよし。人それぞれ知るとわきまえる。
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文の文字が小さい ・歩道が狭く傾斜があって歩きづらい ・説明の文字がちいさかったり、わかりにくい言葉で書いてあった場合 ・高齢化の情勢に対応できない ・情報を得るための手段がパソコンやスマホなどによるものが多くアナログなものをたよって生活している者は不安です。 ・歩道が狭いため自転車で走行するとき人をよけて車道を走らなければならないとき車が怖い。 ・レンガ敷きの道がパタパタはがれていて不安。・運転マナーが悪い人が多くなったようで歩行者があぶないと思う。 ・ローマ字やカタカナ文字が多くなり、情報等がよく理解できなくなってくる不安 ・専門が高度細分化されすぎていて総合性をもった視点が弱くなり、相談等受けにくい場合も多くなってくると思った。(医療、福祉：病院) ・自動車道がせまい ・歩道の傾斜
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の切り下げ部分が歩きにくい。 ・隣り近所の人と人との希薄に感じられて、路上の隣りの雪が邪魔でも迂回して、関知しないで生活者が多い。 解決例→祭り、イベント等に参加者が楽しんでいないのでは。不参加者の理由を参加者は知って行事を実施することで街が明るくなる。
70代	女性	—
80代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行で道路のせまい所に不便、不安を感じる。
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・上町方面にも観光地なみの案内表示・交通表示が設置されたい。 ・観光の場所に車イスの用意があるとよいと思う。 ・神明通りの歩道に自転車が走っていて危ない。なんとかならないかな。

3. 生活や社会でのユニバーサルデザインについて伺います

問8：あなたは日常生活や社会生活の全般について、5年ほど前と比べて、どの程度ユニバーサルデザインが進んだと思いますか。教えてください。

問9：次に、以下のそれぞれの項目ごとに、5年ほど前と比べて、どの程度ユニバーサルデザインが進んだと思いますか。教えてください。

- 市民の意識について（誰もが利用しやすい環境をつくる意識、UDの必要性や重要性の浸透など）
- 地域社会について（地域での支えあい、交流の場、防犯など）
- まちづくりについて（建築物、道路、公園、公共交通など）
- 情報の提供について（情報の分かりやすさ、収集のしやすさなど）
- サービスの提供について（手続きの簡素化、気配りある対応など）
- もの（製品）づくりについて（誰もが使いやすい製品の普及、開発など）



	十分進んだ	まあまあ進んだ	あまり進んでいない	ほとんど進んでいない	どちらともいえない	無回答
日常生活や社会生活の全般	2.7%	42.7%	36.0%	1.3%	13.3%	4.0%
市民の意識について	1.3%	24.0%	58.7%	8.0%	8.0%	0.0%
地域社会について	2.7%	36.0%	41.3%	9.3%	9.3%	1.3%
まちづくりについて	2.7%	50.7%	32.0%	5.3%	9.3%	0.0%
情報提供について	0.0%	44.0%	42.7%	5.3%	8.0%	0.0%
サービスの提供について	2.7%	36.0%	44.0%	8.0%	8.0%	1.3%
もの（製品）づくりについて	2.7%	34.7%	44.0%	5.3%	13.3%	0.0%

問10：会津若松市の中で、5年ほど前と比べて、ユニバーサルデザインが進んだと思うところを具体的に教えてください。

■ハードの部分（例：公共施設、商業施設、道路、公園、標識 など）

年代	性別	回答
20代	男性	—
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設のバリアフリー化、オストメイト向けの公衆トイレの設置 ・道路 ・新しく作られた施設（稽古堂、鶴ヶ城周辺、新道路など）、アーケードの取り外し等、何かを始める際に、従来通りのやり方にとどまるのではなく、時代に合わせて市民の使いやすさ等の配慮が伺える。
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・稽古堂ができたことにより、稽古堂を基準にUDが進むと思います。 ・駅から石堂町に抜ける踏切が広くなって便利になった。駅から大町通りを完全一方通行にしてよかったと思う。歩道の整備はこれから...？総合運動公園のテニスコートやサッカー場が整備されて良かったが、テニスコート内のトイレや更衣室の建物を建て替えて欲しい。交差点の信号機も徐々に雪が積もりにくい形状のものになってきた。 ・新しい道路での標識や信号機
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所内での、トイレの設備改善 ・変わっていない。 ・図書館、学校、お城の周り（駐車場） ・公園 ・公共施設 ・公共施設 ・公共施設、公共交通
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の歩道部分や公共便所等、新しい施設には取り入れられていると感じる。 ・信号の色が見やすくなった。病院の建て替えが進み、トイレの高さが低くなり、車イスのかたでも使用しやすくなった。
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・進んだと感じたことはない ・各公民館の入り口の手すり。交番の標識、表示看板。 ・国道の門田付近の電柱が地下に入り歩道が広くなり融雪歩道になり歩きやすくなった、道路標識がみやすくなった ・道路は整備の途中であると思うが少しずつ改善されているように感じる。 ・図書館内など ・公共施設、駅 ・道路標識、お城周辺の駐車場・トイレ

年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・スロープが増えた、障がい者用トイレ、乳幼児オムツ換え対応トイレ ・公共施設などのトイレは、車イスの方や子供、オストメイトなど使いやすくなっていると思います。 ・道路：市役所の周辺については、点字ブロックがきちんと整備されている。 ・公共施設などわかりやすく提示されてきていて、以前より不便を感じなくなりました。 ・病院など、食品の表記
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設内でトイレなどの施設の場所の表示など ・障がい者の方が働いているところが増えた。コパンやマルクなど。英語や韓国語での表示物が目につくようになった。 ・公共施設 ・駅のホームを移動する時、階段を使わなくても平行移動できるようになったこと ・比較的新しい公共施設は進んでいると思いますが、駐車場はどれも狭く使いづらいと感じます。 ・標識
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・標識 ・公共施設におけるトイレはかなり改善されたと思う。 ・道路、標識 ・電柱の埋没化 ・新設の施設はUDが進んできていると思う ・稽古堂はある程度進んでいると思うが、まだまだですね。管理部門が一番大事な場所を独占しているのはもったいない。 ・道路 ・標識
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設、公共交通 ・公共施設、公共交通、標識 ・公共施設などはすべての人が使いやすいように作られたり、改修されている。 ・公共施設、公園（最近新設された）、商業施設（新しくできたスーパー等） ・標識が見やすくなった ・歩道の幅が広がった。まちなか周遊バスの2台運行など利便性が高くなった。 ・道路の整備は良くなっている ・公共施設：トイレの洋式化、商業施設：車イスの設置 ・見やすい色、デザインの標識は良いと思います ・お城の東側のトイレが本当に使いやすいいつも清潔です。アンケートで一番先に思いました。

年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・道路は、自転車道が出来て一部分だが乗りやすくなった。新しいバスはステップが低くなり小学生や高齢者にはGOOD！
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通（路線バス） ・公園の小さい所では、ベンチで休んでる姿、小さい子供の遊具が増えた。小中高生に使われるゴールバスケットがあると運動したくなるので増やしてほしい ・公共施設、道路、標識 ・風雅堂や稽古堂は老人、障がい者にやさしく作られていると思う ・道路、標識
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等、案内板やスロープ設置され誰もが利用しやすくなった
80代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設。図書館が利用しやすくなった対応もよい
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設（會津稽古堂、各コミセン）、道路（上一之町通り、徒ノ町通り、旧中合南側通り）、標識（鶴ヶ城周辺）

■ソフトの部分（例：情報、サービス、意識、安全、防災など）

年代	性別	回答
20代	男性	—
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設にサービス介助士などの配置での買い物の手伝い ・情報 ・広報誌が非常に充実していて、見ていてとても楽しい。（特に育児や健康情報）
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の子供がいるので、あいづっこ web で確認できます ・市役所を利用した際、職員の挨拶ができていし積極的に声掛けして何か困っていないか尋ねてくるようになったと感じる。登校時間帯の横断歩道を手助けするボランティアをあちこちで見られ、定着しているように感じる。あとは自分もそうだが、知らない大人同士の朝の挨拶とかできれば、知性や思いやりの高い市民が増えるのでは。 ・市役所での手続きがわかりやすく説明してくれるようになってきている
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニでの必要書類の取得、休日開庁が以前より増えた気がする ・変わっていない。 ・学校からの連絡がメールでくるようになった。 ・情報 ・安全 ・情報、意識

年代	性別	回答
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉、サービス業の方の接遇等の情報は進んでいるとは思いますが
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共料金の支払いがコンビニでできるようになった。 ・あまり変わらないと思う ・会津若松市の情報伝ツールができた。市政便りでお知らせがあったが、メールの登録がうまくいかなかった。 ・市の情報が以前より、ホームページから探しやすくなってきたと思います。 ・情報、サービス ・HPを見るとユニバーサルデザインのことが詳しく載っていてわかりやすかった。 ・AEDの設置増えた、屋外での休憩イス、ベンチの設置 ・情報は、求めている人(ネットなどアンテナを張っている方)にとっては見つけやすいとおもいます。 ・防災につてところどころに区域の地図があり、そこに災害があった時の避難場所がとてもわかりやすく書いてあるのがとても良いと思います。
50代	男性	—
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路標識で場所の確認ができる ・意識、防災 ・震災後の防災マップ作成、会津のお酒で乾杯すること
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報 ・情報、サービス ・市役所内で管轄外の事でも調べてくれる ・情報、サービス ・あまりないと思う。 ・防災 ・ユニバーサルデザインの成果かはわかりませんが、窓口対応がとてもよくなった気がします。市役所や図書館など。
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス、意識 ・情報、防災 ・市民を守るための情報（特に子どもや老人）が頻繁に出されている。 ・情報（老人でも理解しやすい広報誌、使いやすいスマホなど） 防災グッズ ・防災について市民が考えるようになった。 ・市役所市民課に案内の人がいること。階段の途中に、休憩のための椅子があること。廊下に、行く先ごとの色分けされた導線があること。一般的なボランティアの認知が進んだこと。 ・スーパーの店員さんの客に対するサービスは良くなっている。 ・広報誌：活字が大きくなった、安全：かんづめをあけるのに手がきれる危険が少なくなった、ワインなどビンがあけやす

年代	性別	回答
		<p>くなった、サービス：振込が便利</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所の窓口のサービス ・情報が豊富になった（防災マップは役立ちます） ・職員の方々の対応がきめ細やかになったように思います。 ・ホームページが充実してきた、コンビニでのサービスが可能になり、24時間対応
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報（ホームページ等） ・安全、防災は特定の人達の協力で数字になりにくい部分です。少しずつ良くなっては来てます。情報～サービス ・情報 ・行政サービスは本庁まで行かずとも市民センターで済むようになったこと ・情報、安全
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の意識はまだまだ低いですが安全、安心な街づくりに向けて進んでいる。
80代	男性	—
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報（市政日より、その他回覧板の内容）、防災（官民協働の気運）

問11：会津若松市の中で、5年ほど前と比べて、ユニバーサルデザインが進んでいないと思うところを具体的に教えてください。

ハードの部分（例：公共施設、商業施設、道路、公園、標識 など）

ソフトの部分（例：情報、サービス、意識、安全、防災など）

■ハードの部分（例：公共施設、商業施設、道路、公園、標識 など）

年代	性別	回答
20代	男性	—
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所全体。特にトイレ。狭い上に衛生面を感じられない。また施設内での移動も、目的の部署に行こうと思ってもわかりにくい。またエレベーター等の設置もないので、車椅子の方などは不便。 ・空き家対策にも市の協力がいただければ、さらに住みよい街になると思う。 ・公共施設
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで何十年もこうして過ごしてきたわけですから、無駄にお金を使ってUDを進める意味はないと思います。大規模な工事があるときにある程度意識すればいいのではないのでしょうか？ ・5年前までは宇都宮に住んでいたが、地元根付いている福田屋百貨店や東武百貨店、などが核だった。神明通りや大町通りやもはや死に体で七日町は観光客でしかにぎわっていな

年代	性別	回答
		<p>い。若い世代ほど郡山や新潟・仙台で買い物しにでかけ、私はもっぱらネットでショッピングをしている。まちなかの商店街でメリットは？行って楽しい見て楽しい店員と話して楽しい、値段には代えられないメリットを見出さないと古くからの商店街は廃れていく一方なのでは？日用必需品を買うためのスーパーとホームセンターがあればいいのではないかと思うくらい。観光を売りにするのなら、道路標識も会津独特のものにすればいいのでは？</p> <p>例えば、1カ月の籠城、世にも強固な鶴ヶ城 悲劇の戦士、白虎隊が眠る飯盛山 会津の教え、什の掟の日新館 ポケモンいるかもよ？背炙山</p> <p>観光客が見て面白い・印象に残る＝感動することが大事であり、ただ標識を増やすだけではどの自治体とやっていることは同じ。少し茶目つけのある看板のほうが印象に残るだろうし、また来よう、今度来たときはあそこに行こうと思わせる仕掛けができていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地以外の道路
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設は、やはりシャッターを降ろしてる所が多い。閉店していてもいいが、ある程度は清潔感をもち維持して欲しい。 ・道路工事は毎年同じ所を工事している。みんないつも何をしているのか？と話している。 ・バス。コースや行き先がわかりにくい。 ・道路（通学路などの歩道が狭かったりなかったりする） ・公園 ・道路 ・高齢者マークはいたるところで確認できますが、子供連れだったり、妊娠中の女性が広い駐車場の端から歩くことに疑問があります。 ・道路
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の古い公共施設には進んでいないと感じる
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設などは、商品の陳列やトイレなどは個体差が大きいようにおもいます。 ・歩道の整備 ・中央郵便局の向かいにある、町の駅は、車イスのトイレマークがあるわりに、段があるし、とても使えない。その近くにもよいトイレがない。 ・風雅堂、稽古堂など新しい建物は進んでいると思うが、市役所、公民館など古い建物は進んでないように思う ・標識 ・標識について見にくい、わかりずらくなっている場所があると思います

年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・道路の標識。健全者の人しかわからない様な感じがある ・公園 ・市役所の案内が分かりにくい ・街中だけではなく少し離れた市内の自転車・歩く人が通れるスペースの確保
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年の冬、道路が除雪の影響であちこちひび割れや、けずりとられてか道路が傷んでいたのに春になってもなかなか修理されず走りにくいと共に景観的にも良く感じられなかった。 ・道路 ・公共交通
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・公園ではほとんど進んでいないのではないかな。 ・信号のない横断歩道が渡りにくいと感じる。車がスピードを落とさないこともある。 ・道路の整備や観光施設等が障がい者にとっては不便さを感じさせます。 ・ハードの部分は新設な施設でも統一されたUDがなされていない。既存施設においてバリアフリーを進めてもらいたいが予算化が問題である。 ・公園 ・私の家の前市道 64 号線中央分離帯は花がいっぱいできれいだだが路側帯は雑草が多く除草がおいついていない ・公共交通～路線バスの本数が少ない。時間通り停留所に来ない。若松駅前のバス発着場に屋根がない ・公共施設、公園、交通（公共） ・体育館正面の階段には呆れてしまう。身障者でなくてもスムーズに入れる誘導は必要だと思う。観光施設で大きな段差のあるところや門などは、健常な高齢者も気楽に使えるバイパスが欲しい。 ・公共交通
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・公園については目や耳、身体が不自由な人（子ども）も楽しめる施設、遊具等があるとよい。 ・郡山からの 49 号線を入ると色々と観光案内標識があるが、公共施設の案内が少ない。 ・道路 ・道路（幹線でない狭い道路）商業施設（昔ながらの店） ・歯科医院等、トイレの洋式化がすすんでない所がある（他は利用が少なくよくわからない） ・商業施設、標識 ・お城のテニスコート前の道路は歩きやすくなりましたが、お堀側には柵がなくよく事故がないものとおもってましたが、

年代	性別	回答
		<p>生け垣があったら安全・美観が保たれるのではと感じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デパートがなくなって不便。映画館も欲しい ・女子トイレに入った時、カバンを置く場所が欲しいがドアに付いているフックは高い所にあつて背の低い人は利用できない所が多い。 ・道路の事情もありますが、主な建物にある標識が確認しづらいような気がします(統一性があつてもいいかなと思います) ・道路、公園
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通 ・神明通りのアーケード問題。雪国なので何とか解決して欲しい。市直接担当でないが、協力し早く設置して貰いたい ・公園は住んでいる住民に合う、遊具を選ぶ運営が望ましい。背あぶり山のアスレチックを小田山公園へ移すと近くで利用者が多くなる。背あぶり山は自然を生かすべきでは？
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな所で工事していて道路がデコボコはしかたないが一部の場所でレンガ通り景観は良いのですが、はれてガタガタと音がし修理も大変で経費もかかるのでは！！
80代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・(道路) 市内の中心部、駅前通り、中央通り、神明通り、鶴ヶ城通り、門田町内のその周辺部は道路が広くなり自転車通行が大変良くなった。旧市内の城下町特有のせまい道路(側溝にふたをした道路が多い。しかも電柱が自転車通行のじゃまになっているところ)改善してほしい
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設(町中の商店街神明通りが賑やかになってほしい。アーケードも必要)、外灯がもっと設置されるようなぞむ所です。

■ソフトの部分(例:情報、サービス、意識、安全、防災など)

年代	性別	回答
20代	男性	—
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症患者の徘徊に応じた対応について、あまり広く知られていないと感じられる。またそういった対応があるのかもわかりにくい。 ・対人に関してはまだ少し堅いようなイメージがあるので、公共機関こそ市民同士寄り添うような頼りになる存在であってほしいと思う。 ・防災、防犯
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで何十年もこうして過ごしてきたわけですから、無駄にお金を使ってUDを進める意味はないと思います。大規模な工事があるときにある程度意識すればいいのではないのでしょうか？

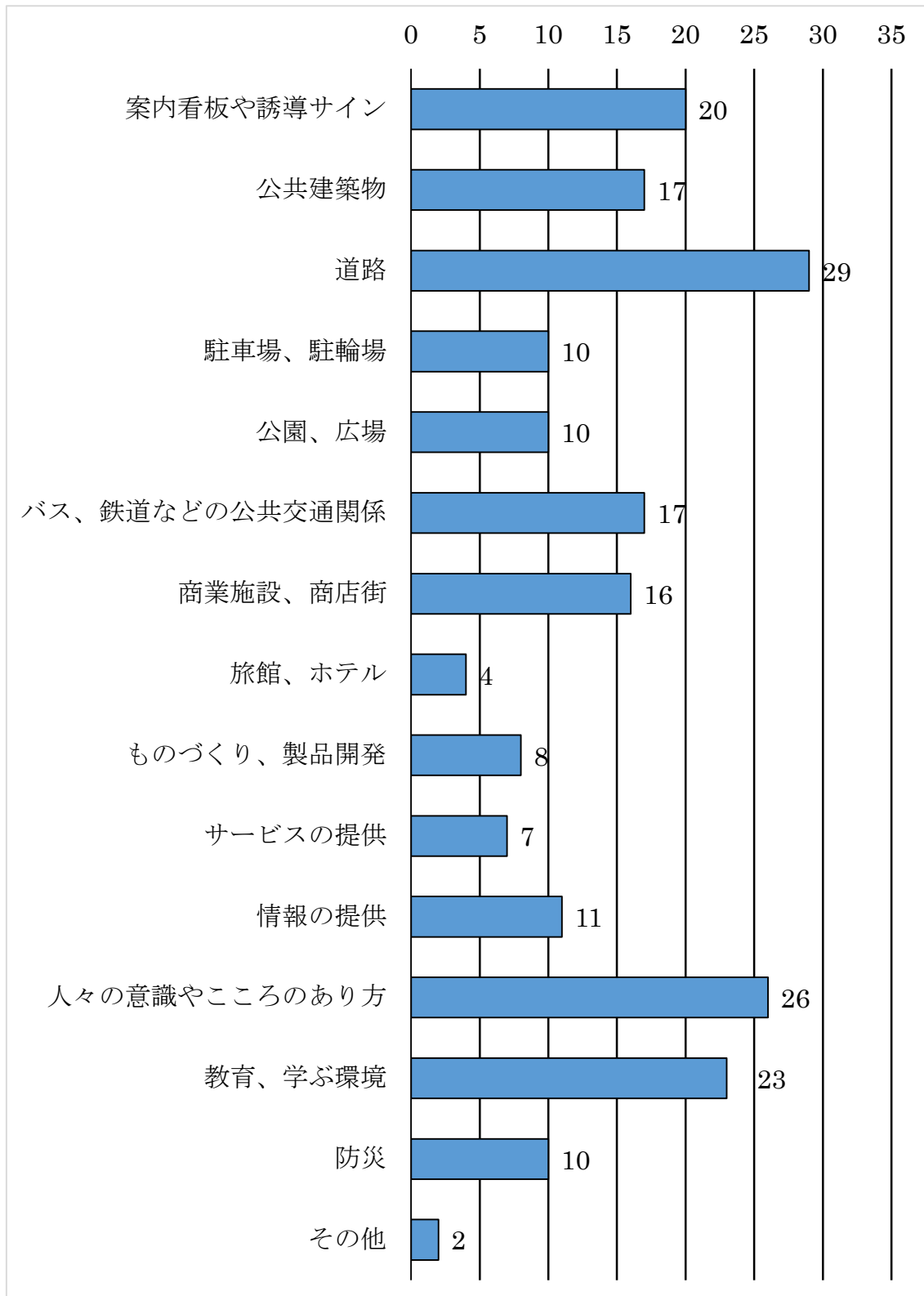
年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・選挙の投票率や関心が低すぎる。選挙に熱い街にして欲しい。ひと昔前には首相になっていたかもしれない伊東正義氏も輩出した市なのだから…。ウインカーを出さないで車線変更したり曲がる車がいるが、これ以上運転マナーの悪い街になって欲しくない。新聞を読まない世代に徐々に移行しつつある。市の教育で子供に新聞に興味を持たせられないなら、時代に見合った情報の発信を考えていかなければならないのでは。 ・非常時の対応がわかりにくい
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・5年前と比べて、やはり防災意識は各家庭……。薄れてきていると思う。道路のデコボコがまだ改善されない場所が多い ・情報もやはり遅れている。サービス、意識の部分も他県に比べてレベルが低い。 ・教育。家庭で教える以外にも、学校やイベント時などに指導してもらえたら。 ・市役所の手続きが分かりづらい。課がどこか見つからない。 ・サービス ・サービス ・WEBやCM、広告で特に確認したことがないので ・意識 ・意識、ユニバーサルデザインという言葉も市民には浸透していないと思います
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉が先行して、市民全体意識には浸透していないと感じる。
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットなど利用していない方には情報が分かりにくいようにおもいます。 ・お手入れ（デザインが生き生きとするような清掃等） ・市政だよりなどがマンネリ。内容が変わり映えない。 ・いろいろ工夫はされてると思いますが、年配のかたへの浸透は難しいと思います。 ・あまり変わらない感じ ・地域の交流は、まだまだ一部の人だけ働いていて、全体的にはあまり栄んでないと思います。 ・防災。避難時の移動を示す標識がないのでは？ ・情報
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の折り込みで定期的に警察署からの情報が配布されるが（会津で窃盗〇件とか～）検挙率が書かれてないので会津若松は安心できる街なのかどうなのか分からないし不安になる。配布の意図がよくわからない。 ・サービス、情報 ・意識
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・冬はほぼ自転車で外出ができない。雪対策。 ・特に防災などは以前と変わっていないなど、感じます。

年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・情報、サービス進んでいるがまだまだである。心のUDを意識づけることが必要かと思う ・情報 ・路線バスの充実を願いたい ・意識～町内会（自治会）に未加入が増えてきた（安全、防犯等を徹底に連絡できない） ・意識、安全、防災 ・情報の出方が悪くなっていると思う。市のホームページに大きく依存しているが、現状のサイトは使いやすいとはとても言えない。検索についても退化しているようだ。全文検索が可能なシステムを作る努力をしてほしい。なんでもPDFで済ませるのは一方的だ。市政だよりも月刊になったのは、とても不便になった。 ・情報、サービス、意識、防災
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の施設での手続きがもっとかんたんにできるとよい。（わかりやすい言葉を使用して欲しい） ・除雪車の技術が未熟。 ・防災 ・住民意識、サービス ・市の総合戦略のICTで「地域力」と「企業力」を相互に高める取組。展開といわれているようであるがカタカナが多く、共有しにくく協働が生まれにくいのではないか ・情報、防災 ・市からの情報をもっとわかりやすく市民に伝えて欲しい。 ・高齢者の安全
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・意識 ・市民への周知が弱いのでほとんどの市民が意識していない。 ・防災は各町内で訓練するよう行政指導して欲しい ・サービス業→特に観光案内所、お客の苦情を現場から報告しない。ビューローの上司もお客目線で理解しない。3年前の苦情も理解されず本年も同じ問題になっている。現場から報告しない。本部はお客目線不足、上から物を見ている。
70代	女性	—
80代	男性	—
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの品物を稽古堂祭りに展示して市民に知らせる。旅館、ホテルでユニバーサルデザインをとり入れているところが少ない。

4. 今後重点的にユニバーサルデザインを進めていくことについて伺います

問12：あなたが、ユニバーサルデザインの考え方を導入していくことが必要だと考えるのはどれですか。（回答は3つまで）

また、具体的にはどのようにユニバーサルデザインの考え方を導入していく必要があると考えますか。



■具体的にどのように導入していくか（問12）

年代	性別	回答
20代	男性	—
20代	女性	・障がいや病気を持った人にもやさしく、またそれに対して理

年代	性別	回答
		<p>解の深めた、広く温かな雰囲気を持った考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、ユニバーサルデザインという言葉により身近に感じていただくために、積極的な日本語の意味付けや情報提供をしていくことが第一歩だと思います。むしろ、「ここはユニバーサルデザインを使用しています。」と標識があってもいいと思います。
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで何十年もこうして過ごしてきたわけですから、無駄にお金を使ってUDを進める意味はないと思います。大規模な工事があるときにある程度意識すればいいのではないのでしょうか？ ・モノに溢れている現代において、心の豊かさを推し進めることが重要だと考える。冬になると除雪除雪と騒ぐ人もいるようだが、町内のコミュニティができていれば自分たちで解決できるはずだし、それが可能であれば除雪費用を別な使い方ができる。ああ困った、やれ困った、行政なんとかしろの自分勝手にワガママな頭から、自分たちで解決するような思考に持っていくには問12-1が答えで、市民の意識を変えることがすべての始まりだと思う。 ・既存のものに頼らず会津若松市独自の考えで進めていくこと
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・子供には、各学校で、学習時間を増やしたり……、大人には……アンケート形式で、問いかけるのもいいと思う。 ・もう少し、子どもの楽しめる場を提供して欲しい。車がなければ身動きが取りにくい環境をどうにかして欲しい。学力がとて低く子どもの将来が心配。他県へ移動したら差がありすぎて子どもが大変。 ・公共交通の時刻表などの配布。イベント時には増便（つるマラのシャトルバスは時間が合わず利用しにくい）。思いやりの心を育む指導。 ・子どもと高齢者が暮らしやすい環境が一番だと思うので身近な事（移動する、遊ぶ、買い物する）が充実して安全だと良いなと思います。 ・子どもにも分かりやすいデザインにして、みんなが安全・安心して利用できるようにする。 ・ひとりひとりの意識改革 ・万人に分かりやすくという理解をしているので、パッとみて誰でも理解できる表示が良いと思います。また、その表示が何であるのか認知するまで説明等が必要だと思います。 ・小学校や中学校で学ぶ環境を作る。 ・駐車場→市内にあっても、個々の表示ではわかりにくい。利用しづらい。共通の大きく分かりやすいマークなど。年配でも車利用での移動も多いため ・バス・タクシー→バスの通っているコースを分かりやすく。

年代	性別	回答
		<p>タクシー利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの提供→サービスどこまで利用できるかが伝わっていない。バス、タクシー料金等、サービスがあることを通年にわたって知らせると良いと思います。
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・広報および地区での講習会および施設での実践講習会を開く
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の頃からUDの考え方やノーマライゼーションの考えを知って行く必要があるとおもいます。 ・社会教育 ・小中の授業でも取り組んでますが、さらにボランティア活動として、障がい者や障がい児と触れあう機会があると良いと考える。 ・子連れでも入れるレストランなど気軽に立ちよれることがわかるデザイン ・年配の人や小さい子供を持つ人などに意見を聞いてみたほうが良いと思う。 ・世代の垣根なく、自分たちの暮らしにもっと関わりやすい環境・交流をしやすいことが必要だと思います。 ・大災害時、停電でも情報収集できるようなシステム、呼びかけ。教育現場等でのユニバーサルデザインの周知 ・人々の意識やこころのあり方は、ユニバーサルデザインへの理解、関心が高まるように、広報、啓発活動を増やして、わかりやすく伝えていくことが大事だと思います。 ・案内表。駅だけではなく、観光地の看板にも音声表示があったら（一例としては、お城）。小学校からでも良いので（中学生くらいから）、ユニバーサルデザインについての意味や使う人の理解を説明する。 ・市民がユニバーサルデザインを知るところから始める。 ・市政だよりなどで視覚的に広報する ・街中から離れた所に住んでいると自家用車が必須ですが、お年寄りが病院やお買い物に行く為の手軽に乗れるバスがあると思います。
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・公募
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道・自転車用の道路の整備（高校の周辺は特に） ・会津の伝統産業→良い物を日常の生活でも使えるようにして市民の意識を高めていく。会津漆器の汁椀を市民ひとりひとりが大切に使える社会。プラスチックにうるしを塗った物ではなく木で作ったお椀で子どもも大人も食事できるといいなあ。 ・子どもは未来なので子育て世代の親業の大切さを伝えてけるようにしていく。教えるではなく一緒に子育てして援助、気づかせていく企画を考えていく。 ・歩道上の点字ブロックの上に障害物をおかないようにする。

年代	性別	回答
		<p>障がいのある児童生徒等が自立と社会参加できるように支援するなど”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこにでも白杖で安心して歩ける歩道の整備 ・バリアフリーの整備 ・案内板等の表示の見やすさ（文字の大きさ、絵の表示など） ・スロープ、エレベーターの設置
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・導入した時には、「ユニバーサルデザイン」をもっと分かりやすく全面的にPRをすればよいのでは。 ・外国人観光客のため、誰にでもわかる案内板表示を進める ・QRコード、デジタルサイネージの利用。わかりやすい情報の提供 ・標識、環境（草刈り） ・除雪対策 ・公開講座 ・仏都会津に生まれて小学校2，3年位で般若心経をおしえる事 ・当市も高齢化社会の影響が強まっています。まず公共建築物に1箇所にとめて欲しい。それが無理なら建物と建物を屋根つき回廊の道にし、雪道でも安全に歩けるようにして欲しい。また、公共交通を入口付近まで行けるように。駐車場は広いところに。 ・（公共建築物）市役所の新築 ・（公園、広場）公園・広場の整備 ・（バス、鉄道などの公共交通関係）バス路線の延長 ・つまづかない歩道やウォーキングしやすい舗道。子供連れが楽しめて休める商店街。会津の立場からの情報発信ができ、埋没しない情報システムの構築。 ・神明通りアーケードの整備 ・高齢化社会に対し外出しやすい公共交通機関の充実 ・活気のある街並み作りでの商業施設・商店街の充実 ・安心・安全で住みやすい地域作りのため防災に力を注ぐ ・会津若松市民に品物を見せていない（ショーケースない）。市民がインターネットしていないHP行政はのせて終わり。市民社会、地域社会との離率。情報伝達手段が考えがたりない
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・必要としている人にマッチしたもの ・ベンチに腰をかけるための入口からの誘導のポール、柵など（視覚障がいの方のために） ・情報内容を精選し、わかりやすい言葉を使用し提供する。 ・こころのユニバーサルデザインは保育園、幼稚園の時から高校生まで発達段階に応じて計画的に学習する場をつくる。 ・「すべての人」が暮らしやすい環境をつくるという考え方を基本に据えること。

年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・(道路) 町中に駐車場が少なく、つい足が遠のく ・安全、安心な道路整備。 ・誰もが遊べ、心やすらぐ公園づくり。 ・思いやりのある人づくり。 ・ウォーキングや買い物をした時など腰をおろし、ゆったりと休憩できるような場所が今後高齢社会に必要と思う。 ・高齢者や障がい者等と接する機会をあえて求めないと核家族等の増加から相手を理解したりその環境づくりの必要性はわからないよう思う。 ・意識やこころのあり方がユニバーサルデザインを進めていく上で大切なので、学校等の教育の場で学べる様にしたら良いと思う。地域の集会等で常に話をするとか ・街中の駐車場表示(例): 軽・3・台・M(money)・F(free) ・サービスの提供: 観光都市をめざす若松なのでおもてなしバッヂを作成し希望者に購入してもらう。 ・防災: 避難(場)所になる所に、月一回位バルーンを上げ、市民に認知してもらう。バルーンには目印の絵を描く。 ・城下町特有の道路がせまく運転しにくく、一方通行かわかりづらい ・高齢者はバスよりタクシーに頼ってしまう。もっと利用しやすい方法はないでしょうか? ・誰もが利用しやすい建て物 ・家にいるより出かけたと思う街、一人でも楽しめる街。誰もが訪れたい環境が必要。それには地域の人、またはたずさわっている人の意識、行動力が大切と思う” ・すみません、私自身今回のモニターに参加させていただいて改めて「ユニバーサルデザイン」のことを気にするようになりました。良い言葉を並べることは出来ても本人の意識が伴わなければと思います。今後意識して学んでゆきます。
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停留所の確保と整備 ・(商業施設、商店街) 商業施設のほとんどが郊外にあり不便を感じる場合があるので住宅地近くの商店街の活性化が必要である ・(防災) 最近是想定外の天災が多いが天災では済まされないので防災の考えは重要である。 ・ユニバーサルデザインについてその範囲が広いので、広報活動や教育等によってその意義を広めてほしい。 ・交通量の多い道路は舗装の欠け所が少ないが縦の細い道路が多い。 ・大町、七日町通りの買い物する時駐車場が少なく困っている。 ・全市で防災訓練となると大袈裟となるので各町内単位でやれ

年代	性別	回答
		<p>ば良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(駐車場、駐輪場) 企業による駐車場には植樹の義務化、条例、令で植、緑の多いまちづくりのために連げること ・(ものづくり、製品開発) 個人、団体の物づくりの登録制を生かし、次の人が加えた製品作りに連げると新しい製品作りが多く生まれお互いの権利が守られる発想で生かされる ・(人々の意識やこころのあり方) ユニバーサルデザインは地域のリーダーには必要である。まずリーダーが守り、行動を起こす事で地域の特色が生かされる
70代	女性	
80代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・案内看板に古い物がある。観光客が見やすい分かりやすい知りたいものを大きく表示されたらよいと思う(整理されたらよいと思う) ・道路の改善～自転車が安心して通行できるよう対策を考えて欲しい。 ・神明通りに無料の駐車場がほしい。
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路…よくなった所もあります。しかしまだまだ不十分です。 ・商業施設、商店街…特に神明通りのアーケードなしは困ります。 ・教育、学ぶ環境…啓発活動には、かくことの出来ない分野です。小中学生に感想文や標語等の募集も大切。

問13：だれもが暮らしやすい会津若松市になるためにユニバーサルデザインやバリアフリーの観点から、ハード整備の部分で、何をどのように工夫したり改善したりするとよくなると思いますか。(複数記入可)
(ハード整備の例：公共施設、交通機関、商業施設、商店街、道路、公園、道路標識、案内表示 など)

年代	性別	回答
20代	男性	—
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設内のバリアフリー化でエレベーターの設置 案内を手伝いしてくれるスタッフの配置といった障がいや病気を持った人でも安心して利用出来る。福祉系の専門スタッフによる対応が可能。 ・あえて言うならば、古い市営住宅等(旧図書館付近)が、外見も含め心配になる。 ・竹田病院前の道路拡張、中央病院の緊急外来専用の右折車線の設置。市内の外灯が少なく、夜外出するのが怖い。外灯の設置をせめて観光地に増やす。観光客から、夜、暗くて、外出しにくいと話を聞きました。
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで何十年もこうして過ごしてきたわけですから、無駄にお金を使ってUDを進める意味はないと思います。大規模

年代	性別	回答
		<p>な工事があるときにある程度意識すればいいのではないのでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・七日町駅に電車が止まった時の、七日町踏切と藤室踏切が長すぎる。時間帯によっては大渋滞につながっている。将来会津若松インターから七日町まで道路を広げる際に観光客にとっても偉い迷惑である。JRの管轄かもしれないが、これを機に大きく声を上げたい。なんとかして下さい。郵便局本局前の通りをお城方面に向かう車線の左側と、中央通りから駅前カラオケ時遊館交差点の左車線。ここは左折レーンなのに直進するバカがいるので危険を感じる時がある。 ・消えかかっている道路案内をまず直してほしい
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所内の、車椅子での移動手段特に、本庁は酷いと感じます。また、利用機会が少ない会計課や危機管理が一階でなく……。利用者が多い、税務課や国保年金課があの場所には相応しいと思います。エレベーター等の設置が厳しいなら、部署の移動で対応して欲しいです。通学路の歩道整備 ・雪が降ると除雪された雪で歩道がなくなったり、見通しが悪くなったりする所が多いので雪への対策（高齢の方は雪かきが難しいというのも含めて）をしっかりと行って欲しい。子どもがのびのびと遊べる運動ができる公園や広場をもっともっと増やして欲しい。 ・雪が積もった時も歩きやすい歩道を作ってほしいです。車が無いと冬は出歩けない。子どもの通学にも不安があります(歩道がうもれてしまうので) ・鶴ヶ城の駐車場を増やす ・神明通りの商店街のアーケードはあった方が良い。雨の日や雪の日、お年寄りがバスやタクシーを待っている間、屋根がないのはかわいそうです。除雪作業をもっときれいにやってほしい。 ・郊外に大型スーパーや買い物で利用する店舗が多くできているが、お年寄りの方が住んでいるのは街の中心部が多いと思います。車を持たない人がバスやタクシーを安く利用でき、買い物や公共施設を使いやすいように
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内は自動車社会になっており、歩行者等にやさしくなる様に整備する。(時差信号等)
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の歩道を徒歩で歩くときは気にならなかったが、子供をベビーカーに乗せて歩くとイロイロな所で小さな段差に気がつきます。ベビーカーがこんな感じなので、車イスの方などはもっと段差に手こずっているのではないのかとおもいます。具体的な場所でなくてすみません。 ・道路や歩道 ・国道から市街地へ向かう道路や歩道について、目を楽しませ

年代	性別	回答
		<p>る位の整備があつてよいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・押しボタン信号機の表示をはっきりと。 ・上記のトイレ改善。駅前の歩道の狭さ。 ・他県ナンバーの車が一方通行をまちがって通るところをよく目にするがあるので交通標識の他に「通れない」とわかるようなやさしいユニバーサルデザインがあるといいなと思う。 ・神明通りのアーケードが建て替えのためになくなって、日当たりがよくなりいいと思ったが、十日市の時、天気が悪いせいか、アーケードのありがたみがよく分かった。 ・北会津の通学路に歩道がなく危険である為、きちんと歩道などを整備してほしいです。 ・竹田病院付近の歩道は人通りが多いわりにせまい。自転車の人との接触や車との接触がありうる。 ・駅前のピボットから城北小までの道が狭く、また見通しが悪いので子ども達が通った時、とても危ないので、安全に歩行できるように整備してもらえたら良いと思います。 ・公共施設や道路の段差の改善 ・駅前や神明北交差点の車線が、他から来た人には分かりにくいらしく、急に車線変更する車が多い
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは神明通り
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・斎場通り（慈光第二幼稚園園庭側の通り）の道幅が狭い。子どもクラブ利用の小学生や園児の登降園の際も直線の道路でスピードを出して走る車も多く、交通量も多いので両側に歩道があると安心して歩くことができるので北側にも歩道をつくってほしい ・公共交通機関の充実 ・飯盛山の通りは観光客の人が多いと車道に出て危ないし、路駐の車も多いので対応してほしいです ・門田方面の歩道が狭いので歩道や自転車の通路を整備する（トヨタカローラから芦ノ牧方面） ・全ての道路で自転車用の道路をきちんと整備してほしい。自転車が車道や歩道を走るので危険だ。
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の主要道路での電線の地中化をもっと早く実施していけばいいのではないかな。 ・一部の大きな通りを除き狭い道路が多く、歩道も狭い。自宅幕内南町から図書館に行く場合も、材木町通りから本町通を通る道は自転車には少し狭い。 ・車いすの方や歩行の困難な方でも移動できるように道路の整備をすることです。 ・中心市街地において軒下を歩道として通れるようにする。観光地であるからこそ心のUDが重要である

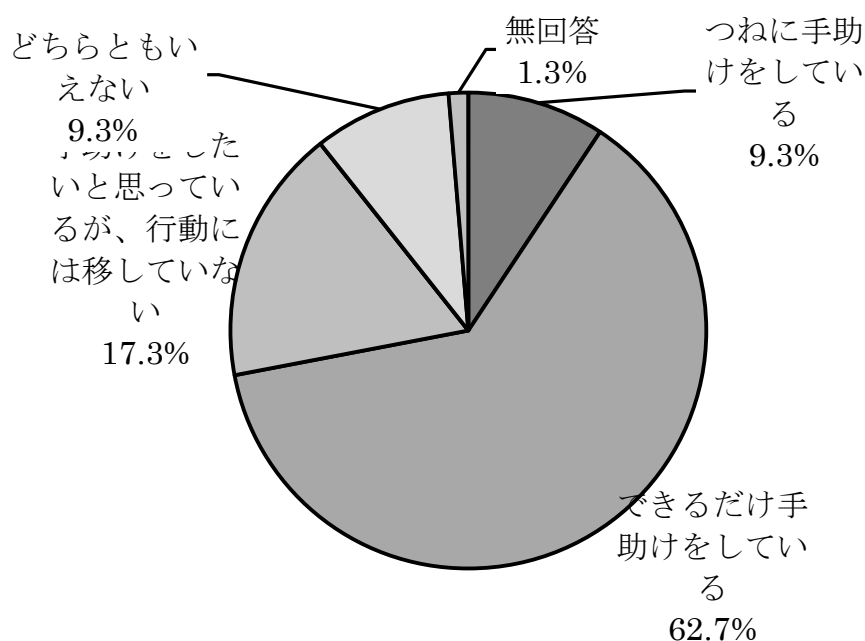
年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・高塚山公園の駐車場側溝に蓋をする ・大町一丁目には3カ寺、二丁目には5カ寺、寺がとなりあわせております。御檀家だけでなく一般の人（観光客）にも参拝の機会をあたえてほしい ・とりあえず段差（公共施設の入口）をなくす。わが公民館は階段となっている。スロープにして冬でも凍らないようにする ・会津若松市役所を新築し各課を集中させる各課が分散していて不便。新築すれば不便さが解消できる。市中心部には公園、広場が有るが郊外には少ないため、郊外に公園、広場を整備する。バス路線の見直し。ユニバーサルデザインの（ハード）観点から河東地域コミュニティバスみなづる号の路線を延長する。 ・舗道が狭すぎで、傾斜を付け過ぎ。一度歩けば分かるはず。日新地区は特に多い。暗渠のふたが舗道とは情けない。 ・神明通りのアーケードが悪く、雨や雪の時不便であり洋服店などには展示品に直射日光があたり、製品に影響が出てくるので早期設置するようにした方が良いのでは。 ・街の活性化を図るためシネマコンプレックスの誘致等を検討する ・会津若松市に商業施設であるデパートがなくなってひさしい。生活の充実がなくなった。おしゃれな人々が少なくなったなあ。商店街も元気がなくみんな通販に流れている。箱物行政がいいが、本来は市役所創世による行政いっしんの環境整備実行がカクゴを持って市民に提言し有名な建築家の設計にゆだねたい。
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道が自転車道と共有しているうえに狭い箇所があちこちにある ・神明通りの歩道はだいぶ整備されましたが自転車の方や歩いている方が一緒になっているので身体不自由な方が安心して歩けない。 ・全体的に、街路灯の数が少ない上に暗い。神明通りのアーケードを早く完成させてほしい。神明通り、中央通りの個店の駐車場のスペースが少ないため駐車に苦勞する。できれば、1時間無料の合同駐車場があればいいと思う。 ・歩道の傾斜、中央通り等広い道路の歩道は問題ないが、せまい歩道は、傾斜している部分が多く、歩きにくい。車イスでは危険で通れないと思う。 ・一方通行の道路がせまいので電柱をなくす。市男女共同参画センターの設置（県内の主要市のはすでにあり会津若松市だけがないので）。各地区にある公園の遊具の修理。 ・少しずつ共生する家族というか施設等が増加したり交流する

年代	性別	回答
		<p>機会を意識的に計画する等の方法が必要なのではと思う。 度々会津若松市に転入して来たお母様から子どもの冬期間の遊び場がまったくないと言われていた。一カ所だけでも遊具のあるあたたかい遊び場の提供が必要だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の除雪はせまい道路こそ早めにして欲しい。案内標識はもっと目立つ様にしたら良いと思う。 ・会津木綿の活用（多くの市民に会津木綿を使ったデザインを公募する）お金がかかりすぎますね。＜例＞ショートエプロン、周囲をトリミング。若松のキャラクター等ポイント付け（可愛いキャラがいいですね） ・中心街は歩道も広くていいが、一步裏通りには歩道がなかったりして車イスや小学生は狭くて安心できないのではないか？（会津高校の南側（体育館）の50mにみたくない未舗装の道路は利用する人が多いので舗装してほしい。2年前自転車で骨折し大変な思いをしました。この場をお借りして是非お願いします） ・七日町の融雪道路の水のスイッチをもっと的確にやって欲しい。及川街道が暗いので街燈を増やして欲しい。 ・すみません、私自身今回のモニターに参加させていただいて改めて「ユニバーサルデザイン」のことを気にするようになりました。良い言葉を並べるとは出来ても本人の意識が伴わなければと思います。今後意識して学んでゆきます。 ・旧市内は全般的に車道も歩道も狭く危険が多い。横断歩道のある信号機も時間が短く、車椅子で渡りきれない（門田、年貢町リオンドール前の信号機）
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路歩道の拡幅（国道118号）。地区集会所への案内表示国道からの ・旧陸上競技場を整備して活用出来ないか（例えば駐車場） ・雪国のためか道路の傷みの激しいところが多くみられるのでこまめに整備してほしい。市民からの要望だけでなく行政も積極的に自ら取り組んでほしい。 ・公共施設、商店街、道路、道路標識 ・城北小前通りは狭く買い物での駐車、停車は他の車の邪魔になる様で心配である。 ・商店街のシャッター通りを少なくする <ol style="list-style-type: none"> 1 空店舗は昔作りの奥行きが長く1軒での営業に苦しんでいる 2 改革→今の店を間仕切りにした小店舗にする事で、経営、営業も軽く出来てシャッター通りにならない。又、多くの種類の店に増えるので買い物客の利便性が高くなるからです。例→中央に奥に向かって通路に両側を小売店舗にする事です
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・国道118号線、401号線の排水溝の詰まり解消 豪雨のとき 飲

年代	性別	回答
		み込めない 歩いていて気付いたことですが、排水溝の網金具などの変形 穴に合わなくて はみ出ている所とか 有ります。 ・博労町通りの道路で車道と歩道の区切りのえん石がところどころにあり、夜間危ないとの声が聞きます。
80代	男性	・道路の整備をお願いしたい。山鹿クリニック前～桂林寺町通り～七日町通りにするまでがせまい
80代	女性	・旅館・ホテルで車イスOKというところがありません。又御薬園にも車イスを設置して一周出来るよう今後改善出来たらすばらしいと思う。

問14：あなたは、市内での外出の際、車いすの方が段差で進めなくなっていたり、視覚障がいがある方がまちの中で迷っていたりした場合、声をかけて手助けをしていますか。（回答は1つ）

1. つねに手助けをしている
2. できるだけ手助けをしている
3. 手助けをしたいと思っているが、行動には移していない
4. 手助けをしたいとは思わない
5. どちらともいえない



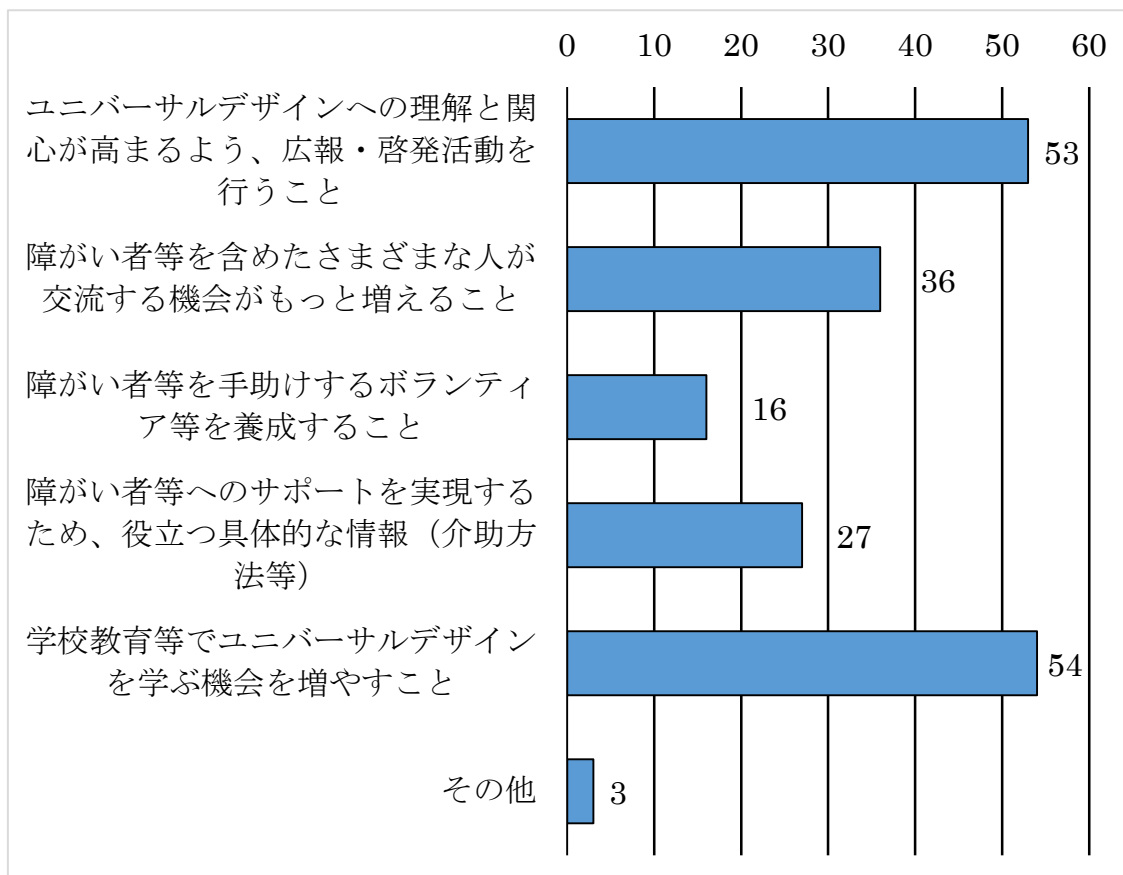
問15：問14で、「手助けをしたいと思っているが、行動に移していない」「手助けしたいとは思わない」「どちらともいえない」と回答した方に伺います。具体的な理由を教えてください。

年代	性別	回答
20代	男性	—
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・車で移動しているので、タイミングと場所が合えば一時的に路駐して手伝うが、交差点に進入している時や、交通量が多いときは、状況により、すぐに手伝うことが出来ない。自転車の時は、様子を見て困っていそうな時は手伝います。
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような場面に遭遇したことがない。
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・あまりそういう場面に遭遇した事がない。 ・逆に手助けしたら迷惑ではないか？と躊躇してしまう ・遭遇したことがないので。
40代	男性	—
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう場面に立ち会ったことがない ・車いすが重たいとなれば、一人で動かすことは無理だし、相手に声をかけても反応が無ければ善意が×になってしまう。

年代	性別	回答
50代	男性	—
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような場面に出会ったことがない。出会ったら助けたいと思う。
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・普段からの行動が大切だと思うが、実際の行動を経験していないことからできないと思う。 ・一人の時はそういう経験がなくわかりませんが妻と散歩しているときは、必ず妻が声をかけるので。 ・そうした場面に遭遇していないため。 ・問14の状態にであったことがない。老人がこまっている様子のとき声をかける、迷子に声をかける等行動している ・相手より依頼があった時は手だすけをする ・実際にそのような状況に遭遇していない ・東京のように整備計画の進んだ道路環境化、点字道路歩行道整備、電車駅内点字進路表示等々が進んでいる都市計画政策の実現されている所は良いが、会津若松はそもそも観念的で、城下町としての整備も近未来計画政策に市民社会形成がなおざりで、外的観光資源財として観光客めあての試作計画にあてられている。よって市民形成意識のこうようが遅れ、町づくりが遅れてきて、バランス感覚の不備が政策実行に後手に向かっている、サービス・情報開示、プロ意識のなさが市民にまで伝染していて不親切・語尾の不確実・起承転結等消費者である市民や観光客の接客マナーも奥手となり、説明と手助けの気配り等。道路の車いすの幅が無く、道路補修がされていない、保安管理体制の不備などきりが無い。これは障がい者及び人口高齢化に対策・福祉福利厚生対策と社会福祉政策の欠如からくる細やかな行政政策を市民へのサービスという事。市民の幸福という事に気をくばっていないゆえの個別と関連が終始一貫していれば新設になると思われる。健常者である市民の知識量と障がい者の権利・義務そして行政の姿勢が、企業側の姿勢が問われてくる事で生活感を新しく提示せねば前進しない。ようは教育行政と行政サービスと観念的な背伸びした話はやめて、ふるさと郷土の誇りに根ざした心ある行動が出せる生活から弱者救済の精神があつてこそ、行動出来る市民社会になると信じる。
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・そういう場面にであったことがないので、「していますか」といわれると、していない。と回答することになる。 ・本当に手助けが必要なかわからないし、ことわられたことがあったので、考えてしまう。 ・手助けをするか考えているうちに通りすぎていってしまう
70代	男性	—
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・声を掛けづらい。一度手助けをしたら別件で頼られて困ったよ

年代	性別	回答
80代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が後期高齢者の立場にあつて、なかなか思うように行動ができない状態にある。 ・実際に合ったことがない。あれば是非共経験をしてみたいです。 ・行動に両者受け身であつてはならない。 しょうがいのひと→ツエに赤ランプ、車イスに助けて手伝って下さいのマーク表示 健常者は→第一声に「私に何かお手伝いすること有りますか」の発信が必要性を学ぶ機会を多く取り入れる 愛称をつける→一般公募する 読み方、書き方を「障がい者」を「ハートマーク」その他の言葉に
80代	女性	—

問16：会津若松市として、「こころのユニバーサルデザイン」を実現していくために、これからどのようなことが必要だと思いますか。以下の中からあてはまるものを教えてください。（回答は3つまで）



■その他での回答

年代	性別	回答
30代	男性	・これまで何十年もこうして過ごしてきたわけですから、無駄にお金を使ってUDを進める意味はないと思います。大規模な工事があるときにある程度意識すればいいのではないのでしょうか？
30代	女性	・市政だよりにコーナーを作り、毎月少しずつ学べるようにする。小さい頃より学んでいけば、自然に身に付くと思うので。
40代	女性	・障がい者などを手助けするボランティア養成講座などを企画、開催して、地域の方々に知ってもらえたらいいと思う。
60代	男性	・個々の個人を認める教育・考えをひろめることが重要。（人それぞれみなちがうということ）（平等にあつかってはだめ） ・もっと理科学的に実験し、見せ、触れさせ、理論的に理解する。
70代	男性	・障がい者→と意識つけない（呼び方です） 例→ハートマークは何か手伝ってほしい合図にする
70代	女性	・各町内会で把握して 啓発活動も良いかと

問17：だれもが暮らしやすい会津若松市になるためにユニバーサルデザインやバリアフリーの観点から、ソフトの部分で、何をどのように工夫したり改善したりするとよくなると思いますか。（複数記入可）
 （ソフトの部分の例：情報、サービス、意識、安全、防災、こころ、ものづくり、製品開発、しくみ、参加、交流など）

年代	性別	回答
20代	男性	—
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関などに現役の介護職員による講習会の開催。 ・私はまだ未婚ですが、自分が子どもを持った時にユニバーサルデザインにあふれた街で子育てできて良かったと思える情報提供がたくさんあればいいと思う。 ・ユニバーサルデザインによる情報の公開や、学ぶ機会を増やすこと。
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・しなくていいと思います。障がい者は障がい者手当、子供はこども手当、母子家庭はひとりおや手当等をもっているわけですから無理に行政が関わると財政の悪化に繋がりませんか？ ・心が豊かになれば他人に思いやりや気配りができるようになるので、大人にはもう手遅れというか難しいだろうが子供の教育に力を入れて欲しい。道徳とか倫理とか自分が学生の頃も授業が少なかった気がする。受験に受かる教育も大事だが、いい学校を出てもまともな大人になる訳ではないのが30代半ばになると段々分かってくる。何を経験し何を実行し何を感じたか。詰め込む教育より、体験型のほうが大人になってからも生きるように思う。ものづくり・製品開発の点でいえば、会津の伝統である酒・漆器・木綿・絵ろうそくなどで日常生活において触れる機会があるとしたら酒くらいであって、その他は遠い存在に感じる。市として振興をする気があるのであれば、その産業の組合や協会にできない部分をフォローしないとせっかくの伝統が消えていき、会津の魅力が少なくなるのではないかと思う。 ・もっと積極的に広報してほしい
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット検索の様に、キーワードを入れると該当項目がもっと詳しく表示される様なホームページ ・災害マップの充実 ・例えばですが、盲導犬や白杖を持った方に対してどのような意識で接したら良いか大人も子どもも理解できている人が少ない…というような話を聞いたりするので、みんなが自信を持って手助けしあえるように情報や勉強の場が増えると良いのかなと思います。 ・子どもにも分かりやすい冊子などを作り、市民みんなが理解できるようにしてほしいです。

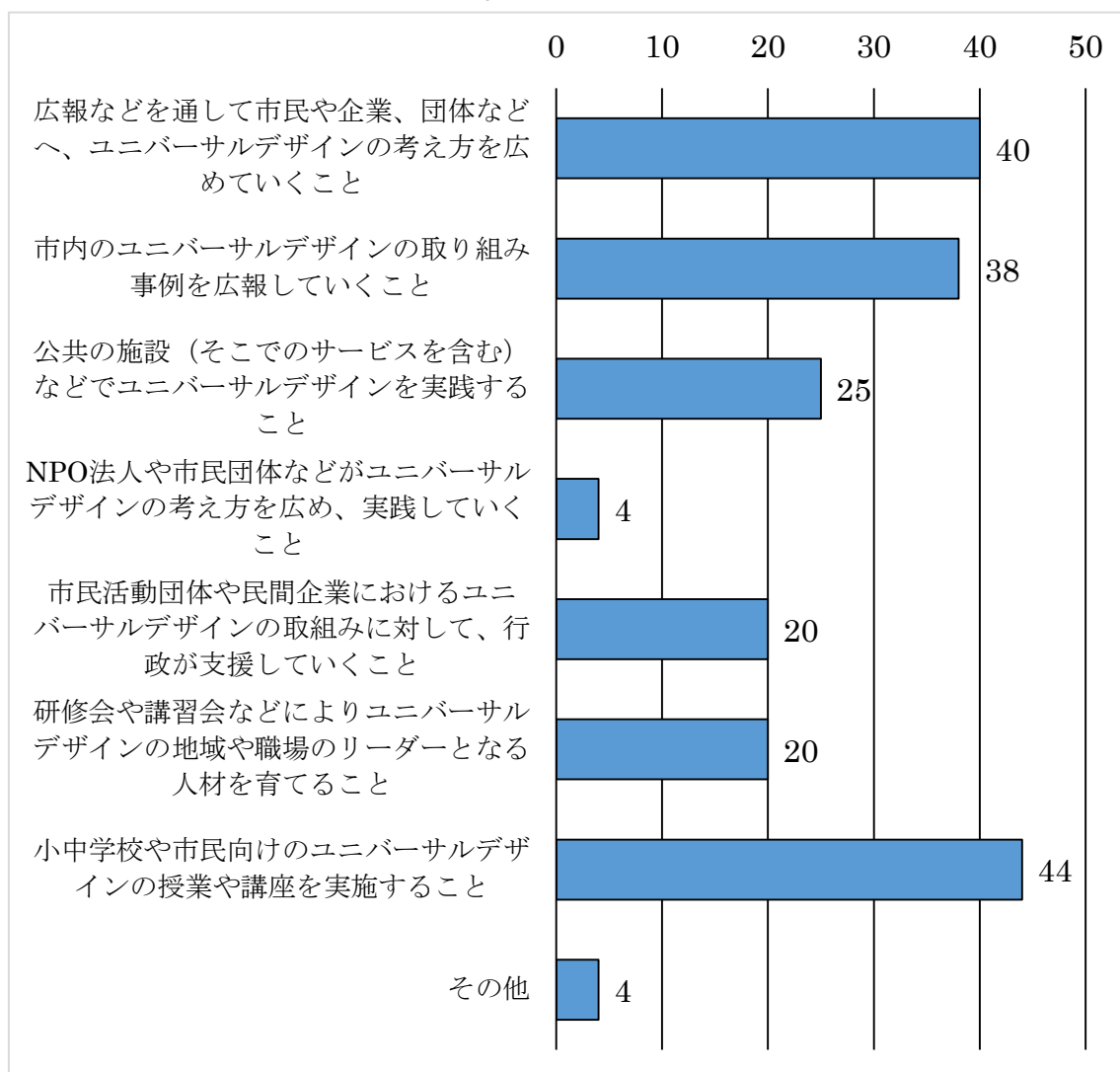
年代	性別	回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に水が出なくなったら何処に給水車は何処に来るか事前に知っているのと安心できます。 ・ホームページで呼びかけは難しいと思うし、日々変化していると思うのでSNS等での発信が望ましいと思います。 ・災害の際、避難所で障がい者・障がい児・そしてその親はまわりにとっても気をつかいストレスもとても感じると思います。障がいのある方が集まれる場所をぜひ作って欲しいです。 ・情報を提供して意識が高まるようにしたほうが良いのでは。だれもが分かりやすいためにはホームページだけでなく（おとしより、子どもは見れません）掲示板、標識で分かりやすく知らせる（交通機関、トイレ、駐車場、避難場所）
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの部分で養成する。弱者を助ける事が当たり前な社会をつくる。
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスや福祉サービス、など誰が見ても分かりやすい一覧が有るといい。医療マップ一覧のように。 ・サービス、制服や物品を活用する。 ・市政だよりの内容をもっと充実させるべき。見ないで捨てている人が周りに多いです。 ・町の名前が変わったり、なかなか今の町名が会津のどこの部分なのか分からないので、まずはどこにどの町があるのか、どこにどういう公共施設があってというのをまず先に掲示してほしい。歩道がなく車道を歩かなくてはいけないところが多いような気がするので、子供たちの登下校が安全にできるようにしてほしい。 ・市のホームページをもっと検索しやすくした方が良いと思います。地域の取り組みを市でもっと支えてほしいと思います。 ・大災害時、停電でも情報収集できるようなシステム、呼びかけ。教育現場等でのユニバーサルデザインの周知 ・どのようにサービスがあり、どのようにすれば利用できるのかを誰にでも分かりやすいものになるよう発信してほしい ・(ユニバーサルデザインの商品は) 使う人にはわかっていても他の人にはわかりづらい（あるいはわかりにくい）点があると思います。稽古堂の一角のスペースを借りて商品の提示と作った物の意図の説明のボード他において市民の理解を得るのは？ ・若い世代は色々学んでいると思われるので高齢者（50代60代も含む）が理解できるような情報の提供を行う。
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・物作りの具体例の提示
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の取り組みや社会に貢献している姿を自然に、もっと広報し、みんなが仲良く安心して生活できる会津若松を作っていけると良い。卒業式に胸につける花（卒業おめでとう）は誰が作ってくれているか、感謝することを卒業生に伝える

年代	性別	回答
		<p>のは大切だと思う。生まれながらに子どもは素直で善だと思うので大人による環境悪から子どもの心が悪にならないよう市民みんなで子育てに取り組んでいくことが大切だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく通行している道路ないで、すぐにイメージできるようなデザインに関して、増やしてほしい。 ・手話通訳者等の養成の為の講習会を開く ・災害の際、どこに避難するのかわかりやすくする為にも回覧板等でも周知して欲しい（HPだけではPCを使用できない人もいると思うので） ・障がい者の方がその方の持っている能力で一般就労でき、それが人の目に触れて、当たり前のこととして受け止められるようになればいいと思う。
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の提供、意識向上に接する機会づくり ・広い公園が近くにほしいと思います ・情報、サービス ・除雪車の出勤時間、状況、判断等を広報等に掲載して情報を迅速に一般公開する ・市民の意識向上が必要。市役所又はNPOでも音頭をとって行動に移す。 ・町内会に加入しない世帯、町内会加入は強制でない事を理由に入らない世帯があります。犯罪、災害など安全面で町内に住む人々全員に知らせる事が出来なくなるので、理解してもらえよう働きかけをする。 ・すべての人を尊重し思いやりと助け合う心の育成と道德教育の拡充をしてほしい ・市政だよりは月2回に戻してほしい。基本は電子配信で、希望者には拠点印刷で必要枚数の支援をしてはどうか。編集スピードを上げることで、より身近な情報提供ができると思う。紙ベースが必要な方には、そのように対応するが、時代の流れに逆行しては会津の名が泣く。 ・インターネットをしてない人もいるので地域ごとの防災マップ等を配布してほしい ・ハザードマップを各家庭へ配布。情報、防災等を迅速に伝達するための広報塔の設置。 ・各町内会の、 サービス事業の取り組みー意識・こころの向上の取り組みー 情報提供の取り組み 交流会事業の取り組み 市民生活・意識の向上の取り組みーテーマ・健康知識・県市の疾病の撲滅、市民運動で旅行バス日帰り企画 家のお困りごと（学校に!）・・・照明交換、障子、ふすまのはりかえ、部屋の片付け

年代	性別	回答
		<p>欠点：プライバシーに触る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人を家に入れたくない。 ・部屋の中を見られたくない。
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・門田の運動公園はとてもよい施設です。しかし落雷のときなどにどのように避難したらよいかわかりません。子どもだけで遊んでいても避難できるよう「わかりやすい」誘導の看板がほしいです。 ・市役所の情報の提供媒体は、HP等ではなく市政だよりが主体であってほしい。現在されているごみの収集日についての周知など当たり前のことを当たり前に告知してほしい。避難場所の地図等はごみの収集カレンダーのように各家庭に貼っておけるようなものがほしい。 ・ユニバーサルデザインによって製品開発したもの（会津ぬりなど）の紹介。・地区での防災意識を高めるための働きかけ（市民活動）。ユニバーサルデザインの取り組み事例の紹介。 ・少しずつ共生する家族というか施設等が増加したり交流する機会を意識的に計画する等の方法が必要なのではと思う。度々会津若松市に転入して来たお母様から子どもの冬期間の遊び場がまったくないと言われていた。一カ所だけでも遊具のあるあたたかい遊び場の提供が必要だと思います。 ・情報をわかりやすく（それぞれの年代に合った）メディアで流して欲しい、定期的に ・交流 向こう三軒両隣のおつきあいが密になる工夫が大切かと考えます。 ・各地区ごとに毎年防災訓練をしておく必要があると思う。一人で逃げられない人をどの様に助けるか等日頃からコミュニケーションがないと出来ないので話し合い、行動に移す事が大切だと思う。 ・情報の伝達方法にホームページがあるがパソコンのない家庭が多いのではないかと（高齢者一人暮らしなど）
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難場所とその方法を各戸に伝わる様に考えていただきたい ・多くの市民にもっと意識してもらおう為に市政だより等を利用して周知に力を入れるべきである。 ・個人情報保護の観点から、特に行政においてはそれに固執る傾向があつて情報公開が進んでいないように思う。もっと積極的に情報公開をしてほしい。 ・安全、参加、交流 ・防災についてパソコンのある人はホームページを見て判るが無い人は判らない。故に市政だよりなどで1頁～2頁で掲載して欲しい ・1 もの作り、成果をきちんと出す。数字になりにくい部分

年代	性別	回答
		には発信すること。動画などは一番効率が良いです。 2 物作りの価値観など改めるのは困難なことです。活躍推進を拒んでいる要因があります。要因がわからなければ克服できません
70代	女性	・市民ひとりひとりがユニバーサルデザインに関する意識を高め誰もが参加、交流できる機会をつくっていく。防災訓練はとても大切ですが地域の防災マップづくりをし地区の皆さんに意識をもってもらおう。
80代	男性	—
80代	女性	・災害の際、どこに避難したらよいか。最もよいのは各地域に看板を立てることだと思います。各コミセンを活用して常日頃心得ておくといざのとき役立ちます。

問18：あなたは、市内でユニバーサルデザインを推進するために、どのような方法がよいと思いますか。（回答は3つまで）

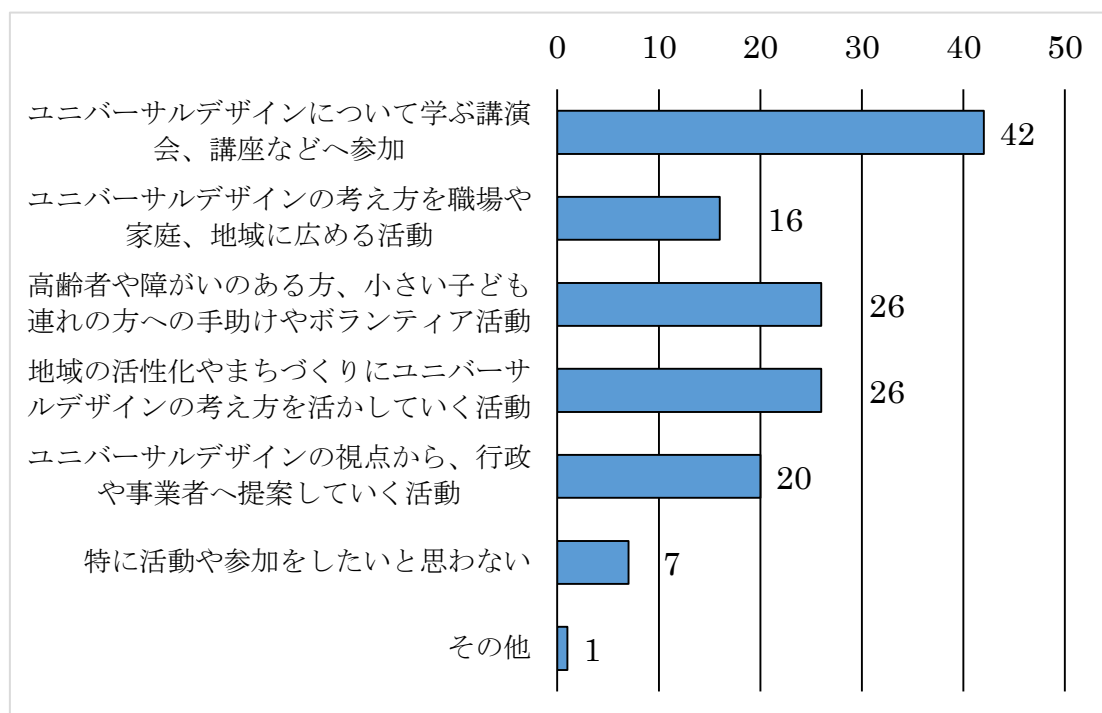


■その他での回答

年代	性別	回答
30代	男性	・しないほうがよいと思います。
40代	女性	・市民の関心のあるイベントやコンサートと絡んでユニバーサルデザイン活動を周知してもらおうとか。
60代	男性	・老人にUDの授業や講座を実施し理解を深める ・ユニバーサルデザインが如何に快適で気持ち良く、商業的にも寄与することを経営者に分かってもらい、どんどん助成金を出す。あまり細かいことは言わず、少しでも良い方向に向かえるよう積極的な支援策が必要。 ・徹底して省エネ化を町づくり政策として財政支援をもって生活をうるおしていく。住環境の近代化→生活者の実行支援策（市民へのLED照明交換負担の援助）
70代	男性	・特定の人への他力、一声之運動で事例を広報発信。高齢、障がい者は受け身であってはならない。

問19：あなたは、ユニバーサルデザインに関する活動で参加したいものがありますか。

(複数回答可)



■特に活動や参加をしたいと思わない理由

年代	性別	回答
30代	男性	・しなくていいと思います。障がい者は障がい者手当、子供はこども手当、母子家庭はひとりおや手当等をもっているわけですから無理に行政が関わると財政の悪化に繋がりませんか？
30代	女性	・ユニバーサルデザインといっても何に特化したものかわかれば参加したいと思いますが、範囲が広いので6.にしました。
60代	男性	・自分にできないと思うから
60代	女性	・今現在必要性を感じない ・何でも参加してボランティアしてみたいと考えていましたが、自分の身体を含めて（腰痛等）、環境的に（家族）厳しいと思っている。
70代	女性	・これから考えてみましょうか

■その他での回答

年代	性別	回答
60代	男性	・その仕組みを分解してみよ（小中学生）
60代	女性	・自身、60代で家族の世話や地域活動で多忙なため。
70代	男性	・笑顔対応、まず地域別に笑顔すてき人を選びから始めて、次に選ばれた人は次のステージが作られる仕組みつくる

問20：ユニバーサルデザインやバリアフリーの観点から、あなたは会津若松市がどんなまちであってほしいと思いますか。ご意見をお聞かせください。

年代	性別	回答
20代	男性	—
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・介護するひと、受ける人が経済的にも身体的にも安心して生活できるやさしいまちになってほしい。社会保障など福祉全体を強化してほしい。 ・今回のアンケートにも非常に感銘を受けたので、ご協力させていただきましたが、今後とも市民の声に耳を傾け具体的に改善、改革がユニバーサルデザインを含みながら進まれていく街になってほしいです。 ・サムライシティとして、人情味あふれる心豊かなまちであってほしい。
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・単刀直入に申し上げます。極端ないい方ですみません。普通に税金を払っている人たちが普通にサービを受けられたらいいと思います。無理に市税を投じてユニバーサルデザインに近づけるのであれば、それは無駄遣いではないでしょうか？市民税を下げたり、職員さんの給与を上げてよりよいサービスを提供することが大切だと考えます。 ・また行きたいと思える出会いと感動のあるまちであって欲しい。自分がほかの場所へ観光に行った際も、その二つがあればそう思うので。 ・市街地だけが会津若松市では無いという意識
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・関連ないかもしれないが、挨拶や身だしなみからきちんとすべきだと思います。市内ですれ違っても、挨拶なし……、髪の毛ボサボサ……、ミニスカートの透け透け姿……、こんな職員を最近は見かけます。そんな時、先ずは基本からキチンと正していかないとどんな素敵な設備がしっかりしてる建物でも施設でも、素敵には思いません。 ・あたたかみのあるまちであってほしい。 ・だれもが暮らしやすい市であり、だれもが観光におとずれたい市 ・住む人も観光で来る人も居心地が良い町になると良いなと思います。 ・全ての年代の人が暮らしやすいまちづくりを市民みんなが意識して生活していけたらと思います。(本宮市のように)「住みやすいまち」上位を目指す。 ・観光と商業の盛んな町。観光は鶴ヶ城に来た人が車を置いて街中周遊バスに乗ったら半券を提示すると駐車場は無料化する。アウトレットを作れば、観光と買い物ができる。宿泊で来る人も増えて行くと思います。 ・安心・安全、誰にでも差別することなくやさしい町になって

年代	性別	回答
		<p>ほしい。障がいのある方が住みやすい、働くことができる環境を作っていくことが大事だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共の施設をバリアフリーにすることも大切だと思いますが、その場に行くまでの交通手段や駐車場などがわかりやすく利用しやすい街になった方が中心部の活性化につながり家にこもりがちな人々が自分で買い物や活動しいきいきとした生活ができるようになるのではと思います。
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・弱者（老人や子供・妊婦）を助ける事が当たり前な社会をつくる。
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいがある人も、そうでない人も、小さな子供も大人も不自由の感じることのない街にして欲しい。 ・現段階を更に推進していくことで更に豊かなまちに変化していけばよいと思っております。 ・観光地なので、どんな状態の方にも楽しんでいただける町。赤ちゃんを抱えたお母さんも、車イスに乗っている方も、観光を満喫して頂けるハードとソフトを備えた町。 ・子育て真っ最中なので、そういった観点でわかりやすい、かわいいユニバーサルデザインがあるといいです。子ども向けのおもちゃがある、遊び場がある、休憩所がある等そういう情報があるとすごしやすくなると思います。 ・歩道が広く段差が少なく、観光客の方が来てもわかりやすい標識。明るい街。 ・安心してそれぞれの力を発揮してお互いに支えあえる街になってほしいと思います。 ・会津若松は観光の町でもあります。ソフト面のユニバーサルデザインを意欲的に行い、もてなしの心を持つことは市の活性化につながる第一歩です。「また行きたい場所」＝会津若松になってほしいです。 ・健常者と障がい者が少しでも手を取り合うことができ、みんなに優しい町に会津若松市であってほしいと思います。(障がい者等への理解が低いのかなと思います。お店、交通機関など利用した際にあからさまにいやな顔をされたりしてとても不快な思いをしました) ・前にも？話したことがあるかもしれませんが、健全者も障がいをかかえた人も平等に過ごすことのできる街を作って欲しいと思います。 ・市民（子供、妊婦、障がい者、高齢者）誰もが安全で安心して暮らせる会津若松市 ・特に高齢者や障がい者が安心して歩ける街 ・ごみなど落ちてない、雑草がいっぱいじゃないきれいな町で、観光客がいっぱい来て活気ある町。市街に買い物行かなくてもいい商業施設の充実。

年代	性別	回答
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの雪対策
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢、人種を越えてわかり合える、みんなが平等の街。地域全体で考えて取り組んで将来が楽しみになるような希望に満ちあふれる又、人に優しい街。日本で一番、住んでみたくなる街。 ・道が狭く歩行者より、車優先の街だと感じます。高齢者や子供たちに優しい街にして欲しいです。 ・目の見えない人へも分かってもらえるように展示でもユニバーサルデザインは展開できないでしょうか？ ・障がい者、高齢者等関係なく普通に生活できるまちであってほしいです ・視力障がいの方や歩行者、自動車通勤、通学の人達がスムーズに使えるような道路の整備がされると良いと思う ・雪が降っても困らない町（融雪道路の設置など）。あかべえやハイカラさんなどの本数の増便。子供の数の多い町。
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・外部から来た人が、お世辞抜きで「来てよかった。また来たい」と思うようなまちであってほしい。 ・自家用車以外の自転車、歩行者、バス等の公共交通機関にやさしい街を望みます。 ・障がい者や高齢者にとって、安全で安心できることと、人にやさしいまちであってほしい。 ・市民の心にゆとりがもてるまちであってほしい ・市民と観光のお客様が一体となって標識を増やし観光、住みよい環境を提案し楽しんでいきたい。 ・観光客をたくさん呼べる町にしたい。七日町も一つの例、栃木市、川越市も良いと思う。金太郎飴のような町にいても一緒。駅前にはチェーン店の酒場、郊外にはチェーン店の商店だけでは会津若松市に旅行に来たという思いにはならない。 ・市民や観光客が安心して安全にそして快適に歩ける歩道、街路樹の整備と歩道の除雪を徹底化する。スペースがあるなら歩道にベンチを設ける。 ・すべての人が安全、安心して暮らせる町作りをしていただきユニバーサルデザインを推進し目標を達成してほしい。そして福祉が充実した町であってほしいと思います ・歴史と伝統を大切にしながら、新しいシステムを積極的に取り入れ、コストダウンしながらより良い行政サービスができるよう、しっかり学んで欲しい。会津大学があるじゃないか。 ・自然環境に恵まれているから、それを活用した施設やレジャーランド等を検討し活気ある街づくりをお願いしたい ・人にやさしい自然との調和のとれた市民生活が構築され、2025年～2035年ごろは老人社会になることはわかっているのだ

年代	性別	回答
		<p>から、お互いがコミュニケーション出来る習慣を身につけた責任の取れる許しあえる社会一気楽に話し合える生活、独り身になったお年寄りが困ったことを手助けしてほしい等を行政にTEL入れてやってもらって「すぐやる課」の創設が急務で、人を派遣し、資金の援助と業社への対貨の保全・保安の確率と報告・連絡・相談という「ほうれんそう」の法則を行政・企業者・市民が双方が信頼の上に成り立った、うその無い、だましの無い安心安全と悪のはびこらない大人社会で子どもの模範になるような会津若松市10万～15万人都市であり、秩序ある国際観光都市になるために、2020年東京オリンピックへのこの4年間で仕上げなければならず、順序段階をきっちりまとめ、計画数値と財源分配の是非を市民に情報公開し、会津若松市の近未来図を緻密なアンケートにまとめ(専門家→外部の人)、市民・行政が一丸となって事にあたらないければ、国づくりは出来なんでしょう。緊張感をもって国際感覚と世界情勢をも視野にしれ町づくり、おもてなしの心と本物志向で事にあたりたいものです。</p>
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている人がいたら進んで手を差し伸べることができるまち ・すべての市民が安心、安全に生活できるのがあたりまえと皆が思える会津若松市であってほしい。 ・ユニバーサルデザインやバリアフリーを積極的にとり入れたまちづくりを推進してほしい。 ・皆が安心、安全に暮らせる町 ・市民全体がユニバーサルデザインやバリアフリーを理解し子どもや高齢者、障がい者などの弱者に配慮した安全・安心なまちづくりをしてほしい。 ・まずは気軽に明るく地域で出会う人にあいさつができることが大切であると思う。このことが日常的に出来るようになれば困っている人や迷っている人がいたら声をかけたり、手をさしのべられるようになるのではないだろうか。そして、差別やいじめなども減っていくようにも考える。 ・誰もが安心して暮らせる町 ・市民一人一人が豊かな心、おもいやりの心を持ち、あったかい笑顔あふれる市になればと望みます。 ・観光地としての城下町の雰囲気を保ちつつ住む人にやさしい街 ・神明通りや大町通りに人が集まる様な町になれば良いなと思っています。 ・「だれもが住みやすい町」理想ですが、なかなかそれは個々の問題もあり難しいところです ・市内一円の格差のないサービスの計画と設計

年代	性別	回答
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・老若男女全ての人々が差別がなく安全安心に生活出来るまち。 ・都会の人が移住したいと思う町になってほしい。 ・車イスや杖でも歩行できる道路など、障がい者が明るく豊かに暮らせる若松市をつくってほしいものです。また、親切や人情のあるまちをつくって、本当の若松市が出来上がるのではないでしょう ・障害車両に対し老人は、力が弱くて協力不足が生じますので中年の方々（60才までくらい）の協力を得られる様広報指導して欲しいです。 ・観光都市会津です。城（城内の駐車場廃止し市民が憩いでる）蔵（酒蔵、発酵、糀で、日新町のまったり蔵）水（いずみ）水路が見えて生き物が居る清涼感を ◎水路上の使われてない橋（城北小学校北側、駐車場の橋の撤去は持主で行います。駐車場に使用している橋は税の対象にする） ◎美しい自然の多いまちなかに生かす事、効率で水路の上に蓋の除去で見える水流
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の沢山来る町 活気のある町・NHKの大河ドラマになるように ・すべての人が安全安心して毎日をすごせ、観光客も会津に来て良かったという声が聞ける市であってほしい。
80代	男性	—
80代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・防災にあたって一人暮らしのお年寄りや身障者の方々乳のみ児をもつ母親等避難訓練が大切。もちろん男女共同参画の視点を忘れずユニバーサルデザインの手法でその上行政主導でやって欲しいと思います。観劇、音楽会等に車イスの方々がどんどん参加出来るような地域にしたいです。

5. その他

問21：その他、本市のユニバーサルデザインの推進に関し、要望や提案などがありましたら教えてください。

年代	性別	回答
20代	男性	—
20代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には近年の会津若松市の様々な新しい前向きな取り組みには一市民として有難く、嬉しく思っております。今後の更なる住みよい街づくりに期待しております。 ・ユニバーサルデザインの推進の具体的な取り組みや、それによって改善された事例というのは市政だよりにのっているのですか？どこに載せているか分かりにくいです。
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインは誰が必要としていますか？何パーセントの市民ですか？そこに税金を投入して何が生まれますか？国の金であろうと県の金であろうと、市の金であろうと、税金ですよ？障がい者や立場が弱い方を無下にするつもりはありませんが、現代社会を見ているとやりすぎだと感じます。やりすぎは何を意味するか。差別につながるのです。障がい者や立場が弱い人が最も嫌なことは恥をかくことでも苦しむことでもなく、「かわいそう」だと思われることです。例えば。小学生が障がい者施設を訪問するのは意味があるでしょうか？中高生に必須科目で訪問させるならわかりますが。小学生にとっては意味がわからないと思います。小学校の教育も含め、もう一度ノーマルデザインにしたほうが、将来的な会津若松市のためになります。我々は国内ならばどこに住んでもいいのです。会津若松市に住まなければいけない義務はないのです。UDが必要な方はUDが充実した街に住めばいいのではないのでしょうか？あくまでも極論です。しかし、この考え方を持つことも非常に重要だと考えます。 ・市政に興味がない人にはまったく気づかない活動だと思うので、知る人ぞ知るではなく誰もが知っている活動としてPRして欲しい。まずは呼びかけをして興味を持たず、口コミで広がりじわじわと浸透していく。行政も商売もうまくやる方法はそんなに変わらないと思いますが…。ものすごくよく考えて記入していざ送信しようとしたらタイムオーバー。改善して下さい。 ・少なくともこの調査を考えながら記入している間にタイムアウトしてしまうようなようでは今後回答してくれる人が減ってしまうと思います
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、市職員の方を対象に……。今回と同じ内容のアンケートを実施してみても如何でしょうか。きっと、いろんな視点からの考えが出来ると思います。また、どう職員に広める

年代	性別	回答
		<p>かと言う考えが……。市民の方への浸透を図る上で、大きなヒントになると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米沢市にもあったのですが「雪国での暮らし方」等の冊子を作ってほしいです。転入してきた人にとってはとてもありがたいです。 ・「ユニバーサルデザイン」アンケートではじめて知りました。知らない方沢山いると思います。色々な方法でもっと広めてほしいです。
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が遊べる・学べる・情報交換できる様な場所をつくって欲しい。(例：郡山市のこども館)
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・他県からの友人にどこがおすすめといわれても「お城」とかメインがあるけど本当にどこがおすすめがわからないので、わかりやすい観光マップとかあるといいなと思います。絶対紹介した方がいいところとか案外わかりません。 ・ユニバーサルデザインといきなりいわれてもピンとこないのが今の現状です。 ・ユニバーサルデザインを取り入れたところは広く情報提供して活動をわかってもらえるようにした方が理解されると思います。
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト化しないと進まない。
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の際は電気も止まるかもしれません。ホームページ等電気を使わなければ情報がわからないものばかりでは万全とはいえないと思います。毎日目にする所、街の中を歩いているといつの間にか覚えてしまって、とっさのときにも行動できるようなマークが有れば良いと思います。子どもの避難の家に学ぶことは多くあると思います。 ・活動の内容が伝わってないように感じます。事例などがわかれば、もっと身近に感じ意識の向上にもつながるのではないのでしょうか。 ・市政だよりなどにユニバーサルデザインについても掲載したりして周知して欲しい
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が行う場合には、どうしても縦割りの予算化となるので、横断的にかつ柔軟に組織化を行っていけばよいと思う。 ・60才以上の方々にUDの理解を深めてもらうことが重要である(現在のターゲットは60才以上の方々であると思う) ・観光施設、公共施設、公衆トイレ、駐車場等の案内標識をドライバーからも見やすい様な形で増やし充実させる。 ・他の市町村と比較すると、全般的に市街地は照明が少なく暗い、観光地は暗ければ気分的に陽気になれない。だれもが(特に女性)安心して安全に歩ける照明にしていこう。(学鳳中高の通りの歩道が暗い) ・ミリ単位の段差があるから助成金を出さないということがあ

年代	性別	回答
		<p>ったことを知っている。少しでも良い方向に持って行くというコンセンサスがあればそんなことにはならないと思う。まず本当のユニバーサルデザインを市当局に学んで欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UD の言葉の概念を横文字ではなく、日本語にマッチした言葉はないか。デザインというが、これは 21 世紀に入って人間の人生設計なり日本の民主主義が世界の自由主義観で、どううちたてられるのか。生活の中から「人はどう生きるのか」という環境整備からくる単なる物の社会で、本来便利で合理的でむだのない、人間に危害をあたえない安全で安心な、そして利便性のある社会・家庭環境を推進する進化という市民に解答をもとめるものではなく、専門都市の専門家が考え抜き提案をうけ、まちがいのない試験・実験の方法論を分析・情報公開し、法整備で管理、チェック機能（食品の衛生法等）の実行と生命―財産を守り、正義の為の行政府として機能しなければ、システムの構造改革が前進し、国づくりの基本にたち帰りたいものである。
60 代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインについてはまだ理解が広まってないように思う。会津人は「こころのユニバーサルデザイン」についてはできていて思いやりのある人が多いように感じる。ハード、ソフトの面を行政の後押しをうけながら事業者や市民活動などで推進していったらどうか。 ・今まで取り組みを知りませんでした。これからはユニバーサルデザインの観点を忘れないようにしたいと思います。 ・貧困や格差社会、職場における評価制度などがますます進んでいけばいくらハード面が整備されてもソフト面でこころのゆとりもなくなり、やさしくはできなくなるだろう。そして心に病を持つ人や虐待、DV（子どもや高齢者に対して）も多くなって行く事だろうと思われてならない。 ・ハード面での取り組みも大切ですが、不便なもの危険なものを取りのぞくのではなく、古いものを大切にしながら各々が助け合っていく心を育てる教育をしたらいいと思います。 ・毎年、お盆には大勢の帰省者で街が活気を取り戻します。常時こんな状況なら良いのにと考えます…が、飯盛山の市営駐車場が夕方クローズされてしまいます。お盆期間中だけでも自由に使用できたらと思います。 ・これからの会津若松市を支える小中学生の講座。トイレフックは高い所にあり、首の痛い人や小学生には無理なので低い位置にしてほしい。 ・市民が誰でも気軽に参加できるような企画をお願いします。 ・直接的には結びつかないかもしれませんが半年くらい前に市のボランティアに登録致しました。今後、有意義な提案が出来るよう意識して参りたいと思っています。

年代	性別	回答
		・市民へのUD意識の浸透
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・行政建物の分散が多い（第一庁舎、第二庁舎等）ので手続きが一か所で済むようにしてほしい。 ・よい事はどんどん市民に呼びかけてはどうですか。市民の中には知恵のある人が大勢おります ・未だ未だ広報というか、知らない人々が多数であると思われるので教育、指導、広報を行っていただきたい。 ・組長（順番）リーダー不足、会津から「どうせ…」の言葉の排除。組長リーダー等は集会等の終わりに「おもてなし」の実践例を造る。 例（道路、地域、清掃活動の目的を延べて、終了時に全員で分別し今回の数の増減の理由を全員が知って終わること）
70代	女性	・考えて
80代	男性	—
80代	女性	・盲導犬によって歩かれている方をたまに見かけますが市内にはどれくらいの方がおられますか。それらの方々が普通の生活が出来るようにと望みます。障がい者の方々に対して余り特別扱いすることははばかれます。しかし暖かい心遣いは大切です。市民全体の意識がどの程度か知りたいです。

以上。